

製品含有化学物質調査・回答マニュアル

2008年3月10日 第4.1版
(JIG-101A 対応版)

(データフォーマット Ver3.32 対応)

グリーン調達調査共通化協議会



改訂履歴：

2006.01.06：第1版 JIG 導入により新規作成

2006.05.26：第2版

改訂内容：

- ①. 別紙2. 使用用途分類を5項目追加(Pb-R-10, 11, 12, 13, 14)
- ②. 別紙5. JIG 例示物質リストの誤記修正
- ③. 別紙6. データフォーマットを別紙2の改訂に伴い Ver3.10 にバージョン変更

2006.12.15：第3版

改訂内容：

- ①. 記入必須項目の明記
- ②. 別紙2. 使用用途分類を10項目追加(Cd-R-3, Cr-R-2, Pb-R-15~22)
- ③. 別紙6. データフォーマットを別紙2の改訂及び入力文字数制限変更により Ver3.21 にバージョン変更

2007.07.17：第3.1版

改訂内容：

- ①. 中国語版 Ver3 調査回答ツール開発に伴い、言語フラグ（中国語対応）追加等を別紙6. データフォーマットに追記（データフォーマットのバージョン変更なし）

2007.12.14：第4版 JIG 改訂版(JIG-101 A) 発行に伴う改訂

主な改訂内容：

- ①. 用語の定義追加
- ②. 含有化学物質情報の回答方法改訂
- ③. 別表A, 別表Bの改訂
- ④. 別紙2、別紙3の使用用途分類リストの改訂
- ⑤. 別紙5のJIG 例示物質リストの改訂
- ⑥. 別紙2の改訂に伴う別紙6. データフォーマットのバージョンアップ (Ver3.32)

2008.03.10：第4.1版（誤記訂正のみ）

改訂内容：

- ①. 別表A. 一部の短鎖型塩化パラフィンの閾値レベルを JIG-101A 和訳版の表記に訂正
- ②. 別紙6. データフォーマットバージョンの備考の表記を 3.32 に訂正

目次

はじめに	P. 3
1. 目的	P. 3
2. 適用範囲	P. 4
3. 用語の定義	P. 4
4. 回答形式	P. 5
5. 調査項目	P. 5
6. 回答方法と調査回答フォーマット（データフォーマット）	P. 11
7. 手書き用フォーマット	P. 11
8. 運用フロー	P. 12
9. 備考	P. 12
10. 添付資料	
別表 A. 調査対象化学物質リスト（レベル A）	P. 13
別表 B. 調査対象化学物質リスト（レベル B）	P. 14
別紙 1. 含有判定フロー	P. 15
別紙 2. 使用用途分類リスト（レベル A, 4 重金属）	P. 16
別紙 3. 使用用途分類リスト（レベル A, その他およびレベル B）	P. 17
別紙 4. 使用部位の例	P. 18
別紙 5. J I G 例示物質リスト（金属換算係数掲載）	P. 21
別紙 6. 調査回答フォーマット（データフォーマット）	P. 31
別紙 7. 手書き用フォーマット 1（標準型）	P. 33
別紙 8. 手書き用フォーマット 2（詳細型）	P. 35

はじめに

2001年1月に発足したグリーン調達調査共通化協議会 (Japan Green Procurement Survey Standardization Initiative: 以下JGPSSI)は、電気・電子機器に関する化学物質含有調査の共通化による、信頼性のある円滑な調査システムを検討してきました。2003年7月には調査に関するガイドラインを発行し、調査対象物質リストと調査回答フォーマットを定め調査の共通化の普及に努めてきました。

その一方でJGPSSIはグローバルなスタンダードを視野に入れ、米国電子工業会 (Electronic Industries Alliance: EIA), 欧州情報通信技術製造者協会 (European Information and Communications Technology Industry Association: EICTA)と連携し共通のガイドライン作成の検討を進めてきました。その成果として2005年5月にジョイント・インダストリー・ガイドライン (JIG)を発行しました。英文名称は「Joint industry guide (JIG) for Material Composition Declaration for Electronic Products」です。

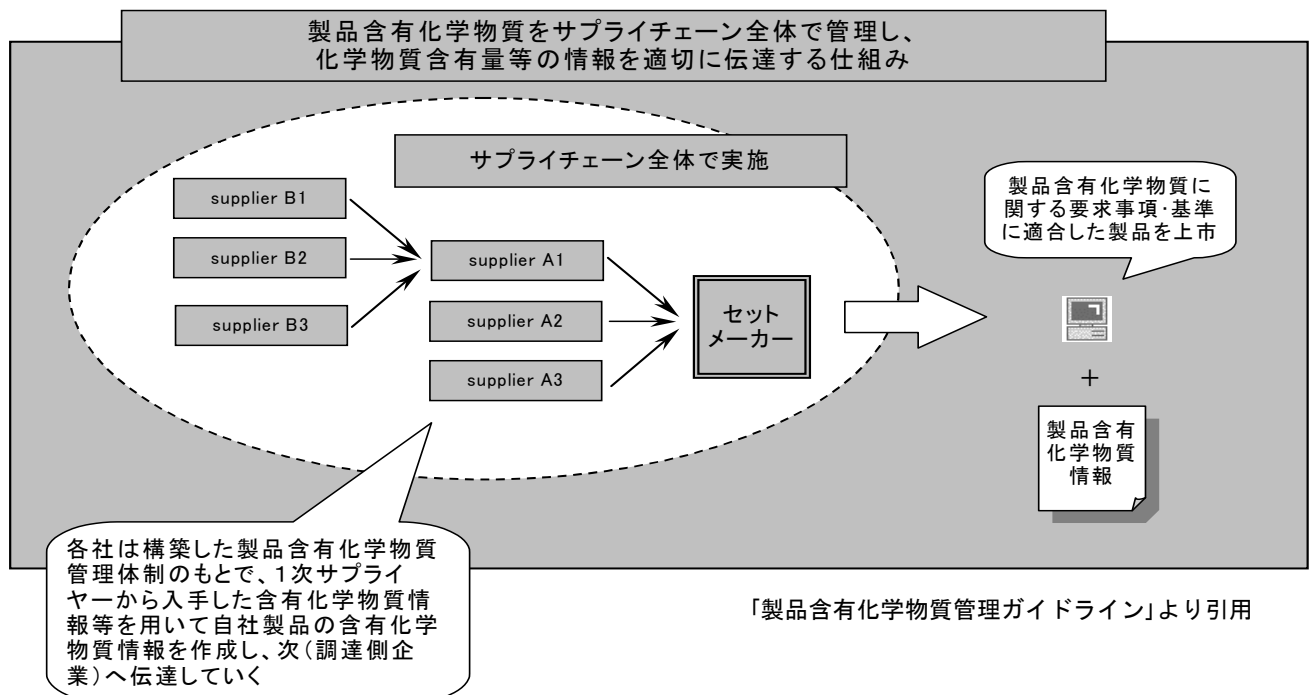
JIGの目的は含有化学物質と開示基準を規定する事であり、これによりサプライヤーと顧客との間の調査プロセスの一貫性と効率化を促進し双方にとっても有益なものとなります。

JIGの発行に伴い、JGPSSIはJIGをJGPSSIのガイドラインとして導入し、JIGに沿った調査・回答フォーマットを提案します。

1. 目的

本調査・回答マニュアルは、JIGに沿った調査・回答フォーマットによる化学物質含有調査および回答方法に関する要項を定めたものです。

本調査は依頼元が1次サプライヤーを回答元として扱う事を基本としています。下図の様に各依頼元がサプライチェーンを遡って同様な調査を行うこと、また川上供給者(素材メーカー側)から川下供給者(セットメーカー側)に含有化学物質情報を正確に伝達することを前提に定めたものです。



調査・回答の考え方についてはJGPSSI発行の「製品含有化学物質管理ガイドライン」を参照して下さい。

なお本調査は企業が製品含有化学物質を管理するためのものであり、下記を目的とするものではありません。

- (1) 化学物質の非含有証明、あるいは法規制への対応の保証、並びに保証のための分析要求
- (2) 法規制の解釈
- (3) エンドユーザーが購入を決定する際の情報提供、等

2. 適用範囲

本マニュアルに基づく調査は、電気・電子機器（付属品を含む）を構成する製品・部品・材料を対象に行います。下記の調査には適用しません。

- (1) 回答元が依頼元に販売する製品を運搬・保管するために使用する梱包材
- (2) 製造工程で使用され、製品／部品に残留しない間接部材、副資材

3. 用語の定義

(1) 製品：

回答者が提供している商品（アセンブリー、サブアセンブリー、コンポーネント、原料など）。製品には製品群を含めることができる。ただし、その製品群に含まれる製品が同一の機能を果たし、かつ含有化学物質情報開示の内容が一致していることを条件とする。

(2) 部品：

製品の下位区分

(3) 材料／化学物質群：

調査対象化学物質及びその化合物の総称。「別表A.（レベルA）、別表B.（レベルB）参照」

(4) 意図的添加：

対象物に一定の性能を持たせるために添加された状態を言う。

(5) 閾値レベル（報告レベル）：

製品または部品に含まれる化学物質または材料がこの値を超えると、本ガイドラインの要求事項にしたがって通知しなければならない限界を示す濃度レベル。

閾値レベルには意図的添加と、数値で設定されている閾値(XXXppm)などがあります。

(6) 不純物：

天然素材中に含有され工業材料の精製過程で工業技術的に除去しきれない物質または合成反応の過程で生じた工業技術的に除去しきれない物質をいう。素材の特性を変える目的で使用する場合は「意図的添加」として扱う。

(7) リサイクル材料：

リサイクルという言葉に確たる定義はないが、一般的には「資源や廃棄物の再利用・再資源化」という意味で使われており、もう一度再利用・再資源化する材料の事をいう。

リサイクル材料には、その材料に意図して添加された含有化学物質等その材料の素性が把握されているクローズドリサイクル材料と、市場から入手し、その素性・含有化学物質が不明なオープンリサイクル材料がある。

(8) コンタミネーション：

材料の製造工程において混入した物質。閾値未満に管理されている条件として含有を認められるが、含有量は削減する事が望まれる。

(9) 使用部位：

部品の構成部位の中で調査対象化学物質を含有している部位のこと。

- (10) 使用目的・用途：
化学物質を含有させるにあたり意図した性能・機能
- (11) 均質材料：
均質材料とは、異なる材料へと機械的に解体できない素材を意味します。均質という用語は、「全体的に一様な組成であること」を意味します。「均質材料」の例は、個々のタイプのプラスチック、セラミック、ガラス、金属、めっき、紙、ダンボール、樹脂、コーティングなどです。
- (12) 機械的に解体：
機械的に解体という用語は、その材料が、原則として、例えば以下のような機械的操作によって分離できることを意味します：ねじ外し、切断、破壊、粉碎及び研磨工程

4. 回答形式

回答形式には回答方法の違いにより、フォーマット1（標準型）とフォーマット2（詳細型）があります。

フォーマット1（標準型）は、材料から部品、ユニット、製品まで調査対象として使えるフォーマットで、調査対象の化学物質の含有量は総含有量での回答となります。

* JGPSSIはフォーマット1（標準型）を推奨します。

フォーマット2（詳細型）は、材料および部品を調査対象としたフォーマットで、調査対象の化学物質の含有量は含有している部位毎での回答になります。（部位の追加は一部品最大50行まで可能です。50行を超える場合にはフォーマット1（標準型）を使用して下さい。

5. 調査項目

※印 はJIGの別表Cのデータフィールドにある項目です。

- (1) 依頼元に関する情報：
回答元では記入、変更は行わないで下さい。
- ① 整理番号：
依頼元で調査ファイルごとに管理する番号として使用します。依頼元が記入します。
 - ② 依頼元記入日：
依頼元の調査依頼日を記入します。
 - ③ 会社名：
依頼元に関する情報です。
 - ④ DUNS ナンバー：
依頼元に関する情報です。
(注)DUNS ナンバーとはD&B社が発行した9桁の企業識別コードです。
 - ⑤ 部署名：
依頼元に関する情報です。
 - ⑥ 担当者名：
依頼元に関する情報です。
 - ⑦ 電話番号（担当者連絡先）：
依頼元に関する情報です。

- ⑧ FAX 番号：
依頼元に関する情報です。
- ⑨ E-MAIL アドレス：
依頼元に関する情報です。
- ⑩ 依頼元管理項目 1～3：
依頼元に関する追加情報を記載します。依頼元管理項目 1～3 は依頼元の設定に基づき使
用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。(例：部門コード、拠点コードなど)

(2) 回答元に関する情報

- ① 回答元記入日： ※
ご回答日をご記入下さい。記入必須項目です。
- ② 会社名： ※
回答元の会社名をご記入ください。記入必須項目です。
回答元が商社の場合、メーカーではなく商社の情報をご記入下さい。
- ③ DUNS ナンバー：DUNS ※
分からない場合は記入不要です。
- ④ 住所： ※
回答元の住所をご記入ください。
- ⑤ 部署名：回答元の部署名をご記入下さい。
- ⑥ 担当者名： ※
本調査データの報告担当者を記載ください。記入必須項目です。
依頼元から指示があった場合はそれに従って下さい。
- ⑦ 電話番号： 記入必須項目です。
上記⑥記載の担当者もしくはデータに関する問合せ担当者の電話番号を記載ください。
依頼元から指示があった場合はそれに従って下さい。
- ⑧ FAX 番号：
上記⑥記載の担当者もしくはデータに関する問合せ担当者の FAX 番号を記載ください。
依頼元から指示があった場合はそれに従って下さい。
- ⑨ E-MAIL アドレス： ※
上記⑥記載の報告担当者もしくはデータに関する問合せ担当者の電子メールアドレスを記載
ください。依頼元から指示があった場合はそれに従って下さい。
- ⑩ 依頼元管理項目 4～6：
依頼元管理項目 4～6 は依頼元で設定し、依頼元が回答元に関する情報を管理するために使
用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。(例：取引先名、取引先コードなど)
- ⑪ 回答に関する追加情報： ※
回答全般に関するコメントなど (回答側が記入します。)

(3) 製品/部品/材料の情報

- ① 依頼元の製品/部品番号： ※ 記入必須項目です。(③の材料特定情報が全て無い場合のみ)
依頼元で使用する回答元の製品/部品の管理番号です。原則として依頼元が記入します。

- ② 依頼元の製品/部品/材料の名称：
調査対象アイテムに対し依頼元が使用する製品/部品/材料の名称です。原則として依頼元が記入します。
- ③ 材料特定情報：
依頼元が調査する材料であって、上記①の製品/部品番号がない場合に使用します。本項目は、回答元に調査する材料を特定するための情報を依頼元が提供する際に使用します。この情報を元に回答元が調査対象となっている材料を特定することができます。原則として依頼元が記入します。
- ③-1 材料グレード No. :
材料を特定するグレード No. を記入する項目です。主に樹脂材料類で使用します。
- ③-2 金属記号・JIS 記号 :
金属を特定する金属記号、または JIS で指定された金属記号を記入する項目です。主に金属材料で使用します。
- ③-3 着色 No. :
材料の色を特定する No. です。この No. は材料メーカー、または着色元で管理されている No. 等になります。主に樹脂材料類で使用します。
- ③-4 板厚 (mm) :
材料の厚さを特定するための情報です。単位は mm になります。主に板状の材料(金属鋼板、シート材など)で使用します。
- ③-5 色 :
上記の③-3 の着色 No. 等の番号管理されておらず色情報が文字で特定される場合などに使用します。
- ③-6 径 (mm) :
材料の径を特定するための情報です。単位は mm になります。主に棒状の材料で使用します。
- ④ 依頼元項目 1～3 :
原則として依頼元で記入し、調査対象品を特定・管理するための項目です。
(注) 管理のためのデータフィールドです。個別に調査することを目的に使わないで下さい。
回答元では記入しないで下さい。
- ⑤ メーカー名 :
調査対象アイテムのメーカー名を記入します。記入必須項目です。
- ⑥ 回答元の製品/部品/材料の番号 : ※ 記入必須項目です。
回答元の製品/部品/材料を特定する番号です。原則として回答元が記入します。
- ⑦ 回答元の製品/部品/材料の名称 : ※
回答元が提供する、もしくは提供している商品。原則として回答元で記入します。
- ⑧ 回答元項目 1～3 :
回答元項目 1～3 は回答元が使用します。(回答元のメモ)
- ⑨ データバージョン :
回答元でご回答いただくデータのバージョンを特定する為の管理番号をご記入下さい。該当する情報がない場合は、未記入で結構です。
- ⑩ 改訂日 :
ご回答いただくデータ若しくは、そのバージョンのデータを確定した日をご記入下さい。
- ⑪ 調査単位 : 記入必須項目です。
含有量をご回答いただく際の調査対象アイテムの単位を選択して下さい。ただし、依頼元が調査単位を設定した場合は、依頼元の指示に従って下さい。

例) 部品の場合は原則、個、原材料については、「kg」、「cm²」、「m²」、「m³」、「m」、「liter」、「g」の中から最も適切な単位を選択して下さい。

- ⑫ 調査単位質量(g/調査単位)： ※ 記入必須項目です。
 上記⑪で設定された調査単位当たりの総質量をg単位で記入して下さい。
 例) 調査単位が 個の場合 → 調査対象アイテム1個当たりの質量
 調査単位が kgの場合 → 調査対象アイテム1kgあたりの質量=1000g

- ⑬ 含有総合判定： 記入必須項目です。
 各物質群の含有判定で一つでもYがある場合はYとし、全てNの場合にはNとします。

(4) 材料/化学物質の情報

- (注1)：フォーマット1(標準型)、フォーマット2(詳細型)で回答方法が共通の項目と、異なる項目がありますのでご注意ください。
 又、例示物質についての調査はしませんが、JIG例示物質リスト(別紙5.)を参考に
 して対象物質群の含有の有無を確認して下さい。
 (注2)：一部のアゾ染料・顔料およびニッケルは、報告が必要な場合の前提条件があります。
 詳細は本マニュアルの10.添付資料の別表Aおよび別表Bをご覧ください。

材料/化学物質の※印の項目はJIG-101 Aの別表Cのデータフィールドにある項目です。

材料/化学物質の情報	フォーマット1(標準型)	フォーマット2(詳細型)
① 閾値レベルによる含有判定 ※ (含有Y、非含有N) レベルA, B共に回答必須		<p>材料/化学物質群が閾値レベルを超えて存在するか否かをY/Nでお答え下さい。(別紙1. 含有判定フローを参考にして下さい。)</p> <p>閾値レベル(報告レベル)は、化学物質群ごとに別表A及び別表Bで設定されています。 別表A：“意図的添加”もしくは”数値で示されたXXX ppmまたは意図的添加”、 または”含有がある場合には量にかかわらず報告が必要” 別表B：“1000ppm”(調査対象アイテムの質量に対する含有率) (ニッケルのみ別途の閾値レベルを適用：別表B参照)</p> <p><u>別表A.(レベルA)の材料/化学物質群について：</u></p> <p>1. 閾値レベル(報告レベル)が数値で設定されている物質群の場合、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 意図的添加の場合：含有とみなします。(Yを選択) (2) 意図的添加はないがその他の理由(注1)で均質な材料中での含有が閾値レベルの数値を超える場合：含有とみなします。(Yを選択) (3) 意図的添加はないがその他の理由(注1)で均質な材料中での含有が閾値レベルの数値を以下の場合：非含有とみなします。(Nを選択) <p>(注1)その他の理由とは意図的添加ではないもので、天然資源に含まれる不純物、工程反応残渣、コンタミネーション、リサイクル材の使用などを言います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図的添加がある場合は含有数値の大小に関らず下記②, ③, ④, ⑤の欄に従い必要事項を記載して下さい。 ・意図的添加がない場合、その他の理由で閾値レベルの数値を超えて含有している場合には、下記②, ③, ④, ⑤の欄に従い必要事項を記載して下さい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>閾値レベル以下の含有であっても、含有が分かっている場合には含有量、使用用途分類などを回答するようにしてください。目的はサプライチェーンで情報を途切れさせない為で、結果として再調査を回避することができます。</p> </div>

<p>① 閾値レベルによる含有判定 ※ (含有 Y、非含有 N)</p> <p>(続き)</p>	<p><u>2. 閾値レベル（報告レベル）が数値で設定されていない物質群の場合、</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図的添加の場合：含有とみなします。（Yを選択） ・意図的添加がない場合：非含有とみなします。（Nを選択） <p>・意図的添加がある場合は含有数値の大小に関らず下記②、③、④、⑤の欄に従い必要事項を記載して下さい。</p> <p>・意図的添加が無い場合、数値報告の必要はありませんが自主的な報告は構いません。この場合も下記②、③、④、⑤の欄に従い必要事項を記載して下さい。</p> <p><u>3. アスベスト類およびオゾン層破壊物質の場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・含有している場合は量にかかわらず、含有とみなします。（Yを選択） ・上記以外は、非含有とみなします。（Nを選択） <p><u>別表 B.（レベル B）の材料/化学物質群について：</u></p> <p>(1) 製品/部品（調査単位）の質量に対して含有が閾値レベル（1000ppm）を超える場合：含有とみなします。（Yを選択）</p> <p>(2) 製品/部品（調査単位）の質量に対して含有が閾値レベル（1000ppm）以下の場合：非含有とみなします。（Nを選択）</p> <p>(3) ニッケルは外部利用以外の場合は含有量に関わらず、含有判定はNです。外部利用の場合には別途に設定された閾値レベルを超えるかどうかによって含有判定（Y/N）を行います。（別表 B 参照）</p> <p>・閾値レベルを超えて含有している場合には、下記②、③、④、⑤の欄に従い必要事項を記載して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>レベル B の物質群では、回答の閾値レベルの分母が製品・部品（調査単位）のため、材料レベルの回答では1000ppmを超えて含まれていても、部品レベルの回答では含有率が薄められてしまい1000ppm以下になってしまうことがあります。含有が分かっている場合には含有判定 Y の場合と同様に回答するようにしてください。目的はサプライチェーンで情報を途切れさせない為で、結果として再調査を回避することができます。ニッケルも同様に、含有判定が N の場合でも含有が分かっている場合には回答するようにして下さい。</p> </div> <p>注）：別表 B のポリ塩化ビニル（PVC）は閾値レベルを超えるかどうか含有判定（Y/N）のみをご回答下さい。含有量の回答は必要ありません。</p>	
<p>② 総含有量または含有量（mg） ※</p> <p>閾値レベルによる含有判定 Y の場合はレベル A, B 共に回答必須</p> <p>（PVC は除く）</p>	<p>フォーマット 1（標準型）</p> <p>①の調査単位で設定された単位あたりに含有している化学物質の総含有量を mg 単位、有効数字 2 桁（3 桁目は四捨五入）でご記入下さい。</p>	<p>フォーマット 2（詳細型）</p> <p>①の調査単位で設定された単位あたりに含有している化学物質の部位毎の含有量を mg 単位、有効数字 2 桁（3 桁目は四捨五入）でご記入下さい。</p> <p>注）：含有が複数部位の場合には行を追加して 1 行 1 部位で記載して下さい。</p>
<p>・記入は把握されている含有量の最大値を原則とします。</p> <p>・金属化合物の含有量は、含有する化合物の量ではなく、化合物の中に含まれる金属元素量に換算した数値を記入して下さい。（別紙 5. の金属換算係数参照）</p>		

	フォーマット1 (標準型)	フォーマット2 (詳細型)
<p>③ 使用用途分類、 使用用途・目的、 使用部位 ※</p> <p>閾値レベルによる 含有判定 Y の場合は レベル A, B 共に回答必須</p>	<p>該当する使用用途分類コードをリストから選んで答えて下さい。複数の部位に含有している場合、該当する全ての使用用途分類コードをリストから選んで答えて下さい。(別紙2、別紙3参照)</p>	<p>含有する部位毎に該当する使用用途分類コードをリストから選んでお答え下さい。</p> <p>(別紙2、別紙3参照)</p>
	<p>該当する詳細な使用用途がリストにない場合には、Cd-J-0 などの”その他の用途”を選び、その趣旨を⑤「含有化学物質に関する追記事項」に記入して下さい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・使用用途・目的にはその化学物質を使用した意図を簡単に記入して下さい。 例1) 安定剤、可塑剤、着色剤、難燃剤、防錆、はんだ成分等 例2) 主成分、熱安定性向上、電気特性向上、機械特性向上等 ・使用部位とは部品の構成部位の中で調査対象化学物質を含有している部位のことです。使用部位の名称は仕様書、図面に記載されている名称、調達先での呼び方、一般的な名称を記載して下さい。 	
	<p>又、同一化学物質が複数の部位に含有されている場合には、主要な使用部位を記載して下さい。この場合には、後に「等」と記入下さい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象アイテムが単一電子部品及びその他の場合には、当該部品の構成図面、構成材料リスト等で記載されているものを部位とします。(別紙4参照) <p>以下に例1)、2)、3)などを示します。</p>	
	<p>例1) 積層セラミックコンデンサ中のセラミック材料、内部電極材料及び外部電極材料</p>	
	<p>例2) 電解コンデンサ中のリード線、電解液、シーリング材及び電極箔</p>	<p>例2) 電解コンデンサ中のリード線のめっき、電解液、シーリング材及び電極箔</p>
	<p>例3) スイッチ中のゴム接点、バネ及びプラスチックカバー</p>	
	<p>注)：部位は均質材料が分かる様に記入して下さい。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象アイテムが機器製品、組立て電子部品の場合には、当該部品(製品)の構成図面、部品リストなどに記載されているものを部位とします。 <p>例) 積層セラミックコンデンサ、電解コンデンサ、プリント基板、組立用はんだ</p>	

	フォーマット1 (標準型)	フォーマット2 (詳細型)
<p>④ 含有率(ppm) ※</p> <p>フォーマット1 (標準型)、 フォーマット2 (詳細型) ともにレベルAのみ回答 必須</p>	<p>レベルA、レベルB共に含有化学物質の含有部位の均質材料 (homogeneous material) に対しての含有率(ppm)を記入して下さい。</p> <p>注)：レベルBの含有率の回答の算出基準は、閾値レベルによる含有判定 Y/N の基準とは異なるのでご注意下さい。例えば、レベルBの含有率の回答が5000ppmでも含有判定がNの場合があります。 尚、レベルBの含有率回答は必須ではありません。</p>	<p>注)：含有が複数部位の場合には行を追加して、1行1部位で記載して下さい。 (レベルA, レベルB 共通)</p>
<p>⑤ 含有化学物質に関する追記事項 ※</p>	<p>含有化学物質に関する追加の情報があれば、記載して下さい。</p> <p>例)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料/化学物質の CAS No. ISO No. など。 ・ 代替計画、削減計画など。 ・ 放射能に関する情報は必ず記載して下さい。たとえば、放射性同位元素の名称とコード, 最大放射能レベル (MBq), 標準的放射能レベル (MBq) など。 	

6. 回答方法と調査回答フォーマット (データフォーマット)

本協議会では、回答時のデータ等の並び方についての条件をルール化し、調査回答フォーマット(データフォーマット)として決めました(別紙6. 参照)。ご回答は、協議会で定めたこの調査回答フォーマット(データフォーマット)に基づく電子データ(JGP1 または JGP2 ファイル)を交換することが原則となります。また、協議会ではこの調査回答フォーマット(データフォーマット)に基づく JGP1 または JGP2 ファイルを作成するための調査回答ツールを2種類作成しフリーソフトウェアとして提供しています。JGP1 または JGP2 ファイルの作成にあたっては、調査回答ツールを使用せず直接 JGP1 または JGP2 ファイルを作成してご回答いただいても構いません。

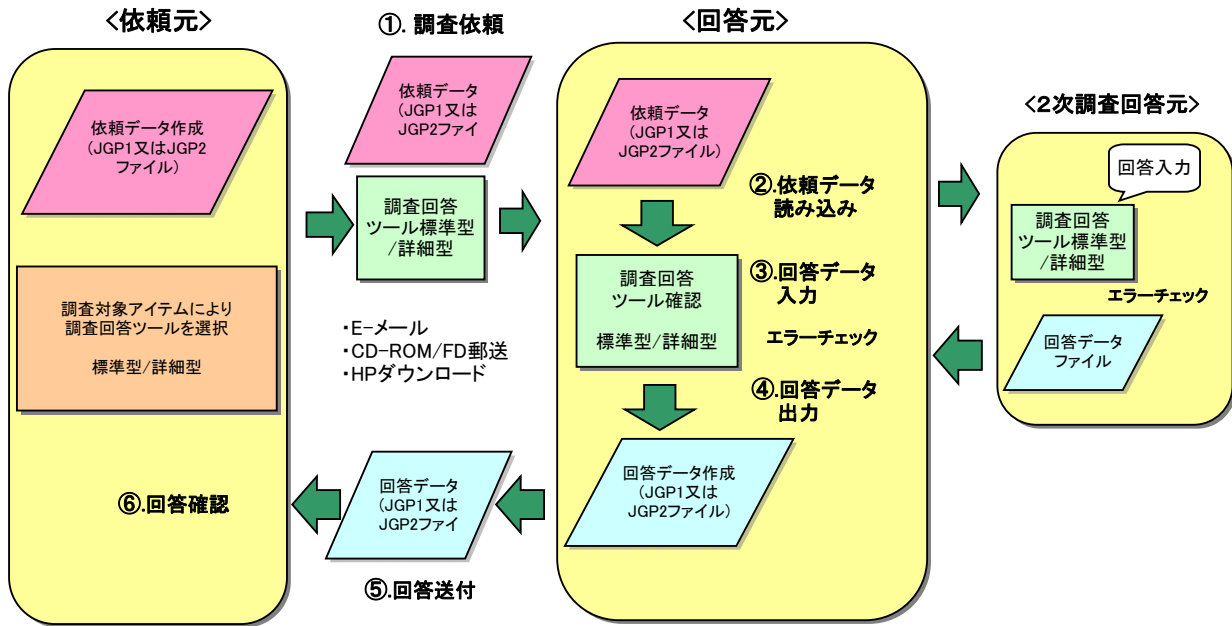
各調査回答ツールを用いた依頼データ、回答データ作成のための操作方法、入力方法およびその他の機能については「[Ver3 調査回答ツール操作マニュアル](#)」を参照願います。

7. 手書き用フォーマット

本協議会では上記6. で説明している様に、調査回答は原則として JGP1 または JGP2 ファイルの交換を前提としていますが、手書き用のフォーマットも提供します。(別紙7、8 参照)
手書き用のフォーマットは電子フォーマット (JGP1 または JGP2 ファイル) が扱えない場合に使用いただく補助用のフォーマットです。手書き用フォーマットは別紙7、又は別紙8をコピーしてご使用下さい。

尚、手書き用フォーマットには、フォーマット1 (標準型)とフォーマット2 (詳細型)があります。含有判定(Y/N)は該当する方に丸をして下さい。使用用途分類、使用用途・目的、使用部位、含有率および含有化学物質に関する追記事項は【含有化学物質—詳細情報】の各欄に記入して下さい。各フォーマットの使用方法、回答方法については本調査・回答マニュアルに従って下さい。又、手書き用フォーマットは本調査・回答マニュアルの別紙に掲載した PDF ファイルのみの提供とします。調査項目などの変更は行わないで下さい。

8. 運用フロー



(注) 調査・回答ツールを使用せずに回答データを作成しても構いません。

9. 備考

- ・ J I G の別表 C : データ・フィールド群の「製品／部品の追加情報」欄は、J G P S S I の調査・回答フォーマットでは使用しません。

10. 添付資料

別表 A. 調査対象化学物質リスト(レベルA) JIG-101A 和訳版より引用

物質群分類 No. (JGPSSI)	材料／化学物質群	閾値レベル (報告レベル)
C01	アスベスト類	含有している場合は量にかかわらず報告が必要
C02	一部のアゾ染料・顔料(特定アミンを生成する)：織物及び革製品用途のみ(表下の注を参照)。	1. 意図的添加 2. 生地完成品や革製品の質量に対する含有率が30ppm(0.003%)を超える場合
A05	カドミウム／カドミウム化合物	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が100ppm(0.01%)を超える場合
A07	六価クロム化合物	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合
A09	鉛／鉛化合物	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合、またケーブルやコード(熱硬化性／熱可塑性被覆)の表面の接触層では、質量に対する含有率が300ppm(0.03%)を超える場合(JIG-101A 和訳版 15 頁の注1を参照)
A10	水銀／水銀化合物	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合
C04	オゾン層破壊物質	含有している場合は量にかかわらず報告が必要
B02	ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合
B03	ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類)	1. 意図的添加 2. 均質材料の質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合
B05	ポリ塩化ビフェニル類およびポリ塩化ターフェニル類(PCB類、PCT類)	意図的添加
B06	ポリ塩化ナフタレン(塩素原子数が3以上)	意図的添加
C06	放射性物質	意図的添加
B09	一部の短鎖型塩化パラフィン(C10 - C13)(本調査・回答マニュアル別紙5.参照)	1. 意図的添加 2. 質量に対する含有率が1,000ppm(0.1%)を超える場合
A18	一部のトリブチルスズ(TBT)、トリフェニルスズ(TPT)	意図的添加
A17	トリブチルスズ=オキシド(TBT0)	意図的添加

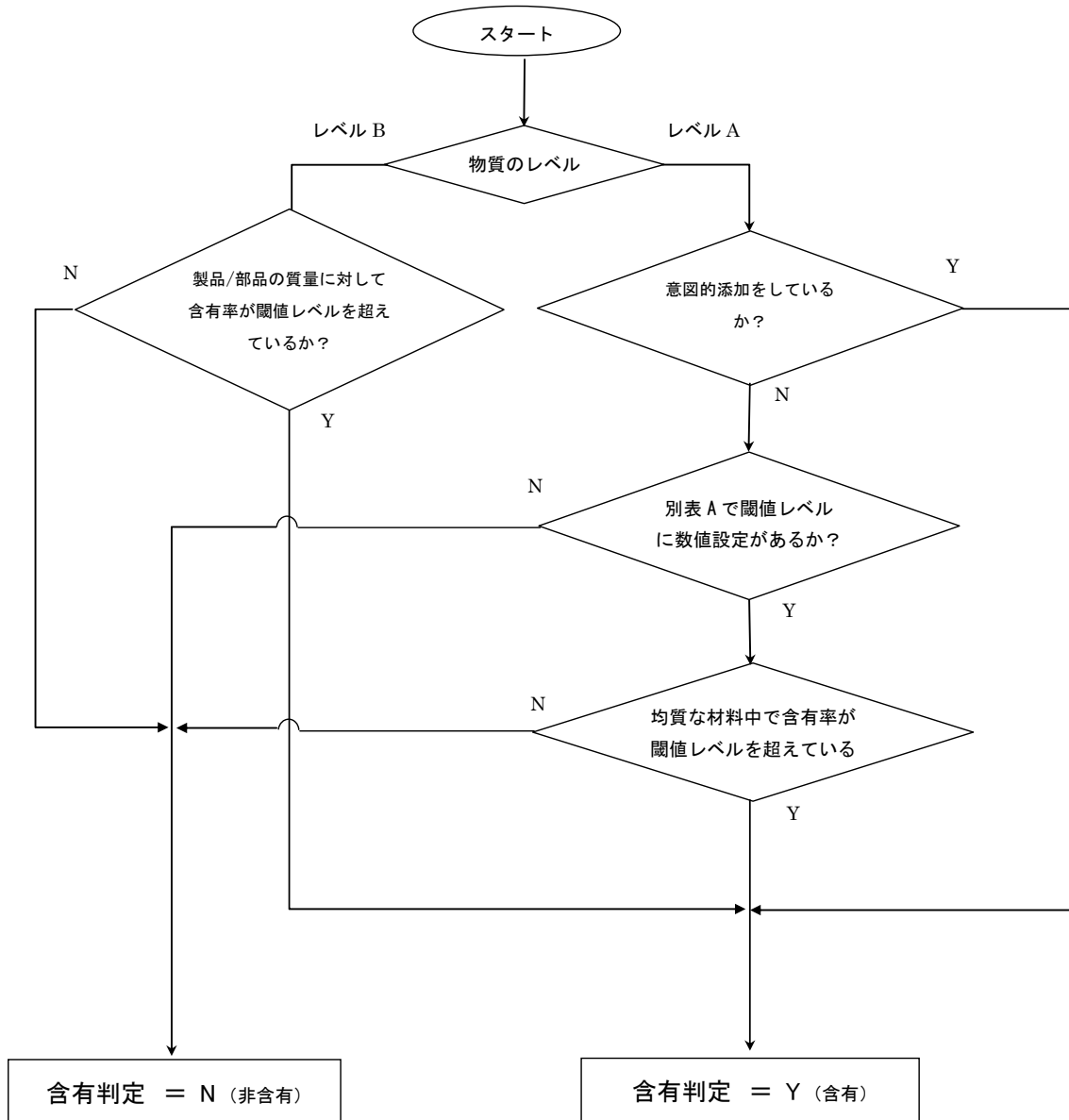
(注)：一部のアゾ染料・顔料は人の皮膚に長時間触れる可能性のある皮革・繊維製品およびその部品に使用される場合にのみ報告が必要です。

別表 B. 調査対象化学物質リスト(レベルB) JIG-101A 和訳版より引用

物質群分類 No. (JGPSSI)	材料/化学物質群	閾値レベル (報告レベル)
A01	アンチモン/アンチモン化合物	1000ppm
A02	ヒ素/ヒ素化合物	1000ppm
A03	ベリリウム/ベリリウム化合物	1000ppm
A04	ビスマス/ビスマス化合物	1000ppm
B08	臭素系難燃剤 (PBB 類または PBDE 類を除く)	1000ppm
A11	ニッケル (特定用途のみ, 表下の注 1 を参照)	DIN EN 1811 試験時にニッケルの剥離量が 0.5 マイクログラム/平方センチ/週を超える 場合
C05	一部のフタル酸エステル類 (本調査・回答マニュアル別紙 5. 参照)	1000ppm
A13	セレン/セレン化合物	1000ppm
B07	ポリ塩化ビニル (PVC) (表下の注 2 参照)	1000ppm

(注 1) : ニッケルは人の皮膚に長時間触れる可能性の用途 (携帯用として設計されたポータブル機器の外装など) に使用される場合 (外部利用) に限ってのみ報告の対象です。ニッケルが製品の外装の内側に組込まれる様に設計された部品などに含有する場合は報告対象外です。

(注 2) : ポリ塩化ビニル (PVC) の報告は含有判定 (Y/N) のみです。



含有判定=N (非含有) となってもお手持ちの
情報についてはできるだけ含有判定=Y
の時同様に含有量などの情報を記入してく
ださい (任意)

別紙 2. 使用用途分類リスト (レベルA, 4重金属) JIG-101A対応

対象化学物質	関連法規		Code	使用用途分類
	RoHS	ELV		
カドミウム	---	---	Cd-J-99	100ppmを超えるカドミウムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	---	---	Cd-J-0	100ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途
	○		Cd-R-0	100ppm以下のカドミウムを含むその他の用途
	○		Cd-R-1	EU指令76/769/EECの改正指令91/338/EECに基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき
	○		Cd-R-2	光学ガラス、フィルターガラス
	○		Cd-R-3	ホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキに含まれるカドミウム
	○		Cd-E-1	厚膜ペースト
	○		Cd-E-2	電気自動車のバッテリー
	○		Cd-E-3	運転補助装置に使用されるガラス基材中の光学部品 (カメラ等)
	○	○	Cd-RE-98	100ppm以下のカドミウムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
6価クロム化合物	---	---	Cr-J-99	1000ppmを超える6価クロムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	---	---	Cr-J-0	1000ppmを超える6価クロムを含むその他の用途
	○		Cr-R-0	1000ppm以下の6価クロムを含むその他の用途
	○		Cr-R-1	吸収型冷蔵庫中のカーボン・スチール冷却システムの防錆用
	○		Cr-R-2	指令2002/96/ECのカテゴリ3に属する設備 (ITおよび通信設備) のうち、「無塗装金属およびファスナの腐食防止のための防食表面処理」および「電磁波」シールドに含まれる六価クロム。除外は2007年7月1日まで認められる。
	○		Cr-E-1	防錆コーティング (下記Cr-2以外)
	○		Cr-E-2	車体部ボルトナット組立て関係の防錆コーティング
	○		Cr-E-3	キャリバン車の(吸着)冷蔵庫
	○	○	Cr-RE-98	1000ppm以下の6価クロムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	鉛	---	---	Pb-J-99
---		---	Pb-J-1	300ppmを超える鉛を含む、塩化ビニル電線への使用
---		---	Pb-J-0	1000ppmを超える鉛を含む、その他の用途
○			Pb-R-0	1000ppm以下の鉛を含む、その他の用途
○		○	Pb-RE-1	CRT、電子部品、蛍光管に使用されるガラス
○		○	Pb-RE-2	電子セラミック部品
○		○	Pb-RE-3	鉛が0.35wt%以下の鋼材 (亜鉛めっき、快削鋼を含む)
○		○	Pb-RE-4	鉛が4wt%以下の銅合金 (真鍮、りん青銅等)
○			Pb-R-1	鉛が0.4wt%以下のアルミニウム材料
○			Pb-R-2	高融点はんだ (85wt%を超える鉛を含む鉛合金)
○			Pb-R-3	サーバーストレージ及びストレージ・アレイ・システム、交換、シグナリング、伝送及び通信ネットワーク管理のためのネットワーク・インフラ機器用のはんだ
○			Pb-R-4	コンプライアントピン・コネクタ
○			Pb-R-5	熱伝導モジュールCリング用コーティング材
○			Pb-R-6	光学ガラス、フィルターガラス
○			Pb-R-7	85wt%未満 80wt%を超える鉛を含むマイクロプロセッサのピンとパッケージ接合用の2種類を超える元素で構成されるはんだ
○			Pb-R-8	Flip Chip ICパッケージ内で半導体のダイとキャリアー接合用のはんだ
○			Pb-R-9	鉛青銅製の軸受胴とプッシング
○			Pb-R-10	ケイ酸塩(silicate)がコーティングされたバルブを有する直線状白熱電球の鉛
○			Pb-R-11	プロフェッショナル向け複写用途に使用される高輝度放電 (HID) ランプ中の放射媒体としてのハロゲン化鉛
○			Pb-R-12	BSP(BaSr2O5Pb)等の蛍光体を含む日焼け用ランプとして、およびSMS(SrBa2MgSi2O7Pb)等の蛍光体を含む、ジャソ印刷複写、リソグラフィ、補写器、光化学、硬化処理用の専用ランプとして使用される放電ランプの蛍光体の付着剤としての鉛(重量比1%以下の鉛)
○			Pb-R-13	非常にコンパクトな省エネルギーランプ (ESL) における、主アマルガムとしての特定の組成物PbBiSn-HgおよびPbInSn-Hg、ならびに補助アマルガムとしてのPbSn-Hgの鉛
○			Pb-R-14	液晶ディスプレイ(LCD)に使用される平面蛍光ランプの前面および後面基板を接合するために使用されるガラスの中の酸化鉛
○			Pb-R-15	ホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキに含まれる鉛
○			Pb-R-16	光ファイバー通信システムに使用されるRIG (希土類鉄ガーネット) ファラデー回転子に不純物として含まれる鉛
○			Pb-R-17	ピッチが0.65mm以下で (NiFe) リードフレームを持つコネクタ以外の微細ピッチコンポーネントの仕上げ処理が施された部位に含まれる鉛、また、ピッチが0.65mm以下で銅リードフレームを持つコネクタ以外の微細ピッチコンポーネントの仕上げ処理が施された部位に含まれる鉛
○			Pb-R-18	機械加工通し穴付き円盤状および平面アレーセラミック多層コンデンサへのはんだ付け用はんだに含まれる鉛
○			Pb-R-19	構造要素に用いられるプラズマ表示器 (PDP) および表面伝導電子エミッタ表示器 (SED) に含まれる酸化鉛。特に、前後ガラス誘電体層、バス電極、ブラクストライプ、アドレス電極、バリアリブ、シールドフリット、フリットリング、およびプリントペーストに含まれる酸化鉛
○			Pb-R-20	ブラクライトブルー (BLB) ランプのガラス管体に含まれる酸化鉛
○			Pb-R-21	高出力 (125dB SPL以上) の音響パワーレベルで長時間動作すると規定されているスピーカに使用されるトランスデューサ用はんだとして用いられる鉛合金
○			Pb-R-22	理事会指令69/493/EECの付属書1 (カテゴリ1、2、3および4) で定義されているクリスタルガラスに含まれる鉛
○			Pb-E-1	機械加工目的のアルミニウム (0.4 < Pb ≤ 1.5wt%)
○			Pb-E-2	機械加工目的のアルミニウム (Pb ≤ 0.4wt%)
○		Pb-E-3	ベアリングシェル/軸受(合金)	
○		Pb-E-4	バッテリー	
○		Pb-E-5	制振装置 (バイブレーションダンパ)	
○		Pb-E-6	鉛が0.5wt%以下の流体ハンドリング・パワートレーン用エラストマーの加硫剤及び安定剤	
○		Pb-E-7	鉛が0.5wt%以下のパワートレーン用エラストマーの接着剤	
○		Pb-E-8	電子基板及びその他の電気部品のはんだ	
○		Pb-E-9	鉛が0.4wt%以上のブレーキライニングの摩擦材中の銅	
○		Pb-E-10	バルブシート	
○		Pb-E-11	起爆剤	
○	○	Pb-RE-98	1000ppm以下の鉛を含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	
水銀	---	---	Hg-J-99	1000ppmを超える水銀を含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	---	---	Hg-J-0	1000ppmを超える水銀を含むその他の用途
	○		Hg-R-0	1000ppm以下の水銀を含むその他の用途
	○		Hg-R-1	水銀が1本当たり5mgを超えないコンパクト蛍光ランプ
	○		Hg-R-2	水銀が各閾値を越えない一般照明用の直管形蛍光ランプ
	○		Hg-R-3	特殊用途用の直管形蛍光ランプ
	○		Hg-R-4	その他のランプ
	○		Hg-E-1	ディスプレイランプ、計器パネルディスプレイ
○	○	Hg-RE-98	1000ppm以下の水銀を含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	

※ Codeの真ん中の記号は下記を意味する。

R: EU/RoHS
E: EU/ELV
J: JGSSSI

別紙 3. 使用用途分類リスト (レベルA, その他) JIG101A対応

対象化学物質	関連法規		Code	使用用途分類
	RoHS	ELV		
トリブチルスズ=オキシド (TBTO)	---	---	A17-J-1	水周り(厨房や浴槽で使用するもの)
	---	---	A17-J-2	印刷用インキ、防腐剤、かび防止剤、水中用塗料等
			A17-J-0	その他
一部のトリブチルスズ(TBT)及びトリフェニルスズ(TPT)	---	---	A18-J-1	水周り(厨房や浴槽で使用するもの)
	---	---	A18-J-2	印刷用インキ、防腐剤、かび防止剤、水中用塗料等
			A18-J-0	その他
ポリ臭化ビフェニル類 (PBB類)	---	---	B02-J-99	1000ppmを超えるPBBを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	---	---	B02-J-0	1000ppmを超えるPBBを含む、その他の用途
	○		B02-R-0	1000ppm以下のPBBを含む、その他の用途
	○		B02-R-98	1000ppm以下のPBBを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE)	---	---	B03-J-99	1000ppmを超えるPBDEを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
	---	---	B03-J-0	1000ppmを超えるPBDEを含む、その他の用途
	○		B03-R-0	1000ppm以下のPBDEを含む、その他の用途
	○		B03-R-1	ポリマー製品へのDeca BDE
	○		B03-R-98	1000ppm以下のPBDEを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション
ポリ塩化ビフェニル類 (PCB類)およびポリ塩化ターフェニル類 (PCT類)	---	---	B05-J-0	全て
ポリ塩化ナフタレン (塩素数が3以上)	---	---	B06-J-0	全て
一部の短鎖型(C10~13)塩化パラフィン	---	---	B09-J-0	全て
アスベスト類	---	---	C01-J-0	全て
一部のアゾ染料・顔料	---	---	C02-J-1	皮革製品及び繊維製品であって、人体に持続的に触れる用途
			C02-J-0	その他
オゾン層破壊物質	---	---	C04-J-0	全て
放射性物質	---	---	C06-J-0	全て

※ Codeの真ん中の記号は下記を意味する。

R: EU/RoHS

J: JGPSSI

使用用途分類リスト (レベルB)

対象化学物質	Code	使用用途分類
アンチモン/アンチモン化合物	Sb-J-0	全て
ヒ素/ヒ素化合物	As-J-0	全て
ベリリウム/ベリリウム化合物	Be-J-0	全て
ビスマス/ビスマス化合物	Bi-J-0	全て
ニッケル	Ni-J-0	全て
セレン/セレン化合物	Se-J-0	全て
ポリ塩化ビニル(PVC)	B07-J-0	全て
臭素系難燃剤	B08-J-0	全て
一部のフタル酸エステル類	C05-J-0	全て

※ Codeの真ん中の記号は下記を意味する。

J: JGPSSI

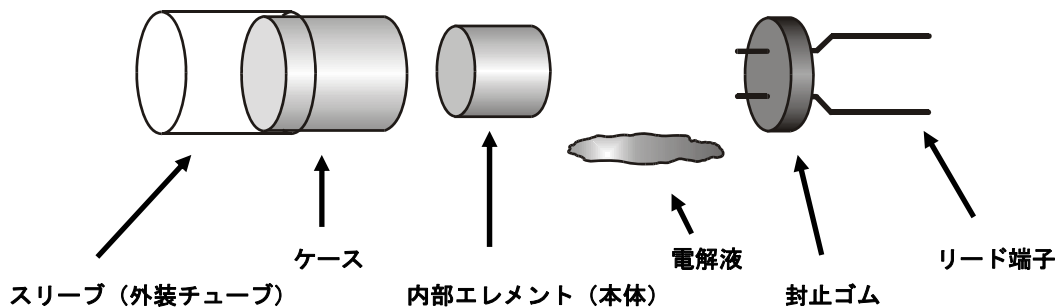
別紙 4. 使用部位の例

以下は、回答欄の使用部位の項を記載していただくにあたり、参考となる部位名称の事例集です。
ご注意：これらは全ての部位を表現しているものではありません。

フォーマット2（詳細型）を使用する場合には、部位名称を均質材料がわかるように記入して下さい。
例えば、リード端子のめっき。（構成部位の事例5. 参照）

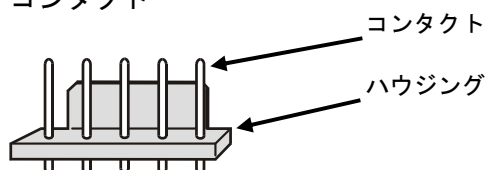
【構成部位の事例1】 電解コンデンサ

構成部位：スリーブ、ケース、内部エレメント、電解液、封止ゴム、リード端子



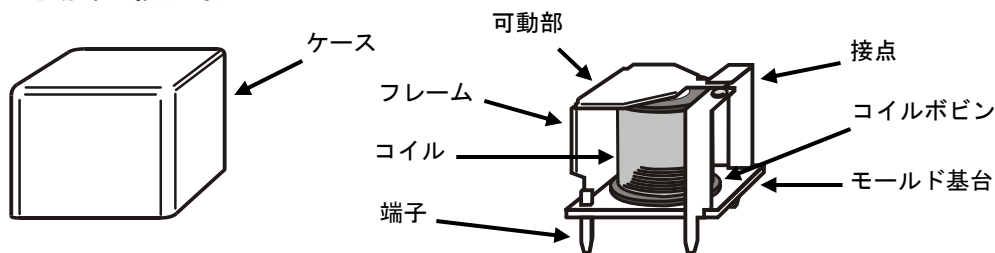
【構成部位の事例2】 コネクタ類

構成部位：ハウジング、コンタクト



【構成部位の事例3】 スイッチ、リレー等、機構部分を持つ部品

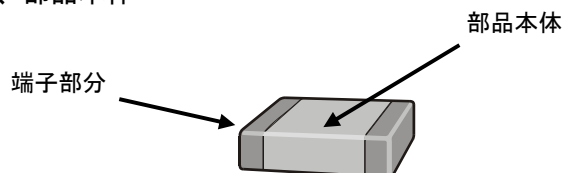
構成部位：部品ケース（樹脂モールド等）、金属部分（レバー、フレーム、端子等）、可動部（接点等）



* 樹脂の難燃剤、接点の電気的特性・潤滑などを目的とした特別な金属類（合金）等にご留意下さい。

【構成部位の事例4】 表面実装型チップ部品

構成部位：端子部分、部品本体

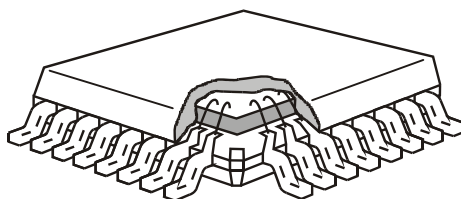


* 部品本体が複数材料で構成されており、該当物質が存在する場合、細分化して下さい。
例) 部品本体 → セラミック・内部電極

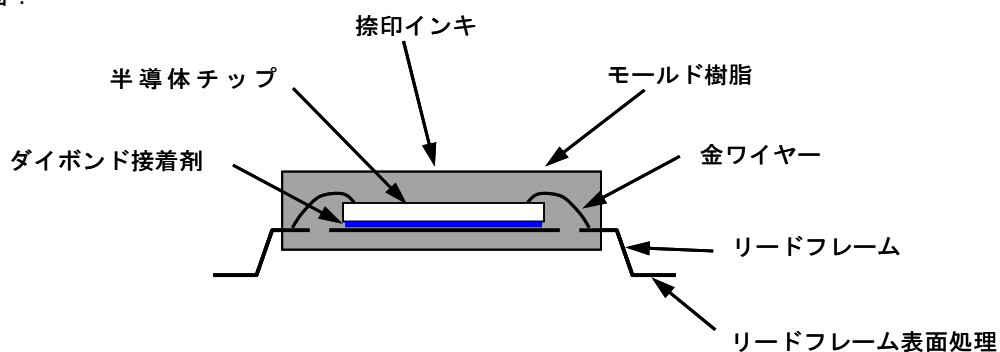
【構成部位の事例5】 半導体デバイス

構成部位：リードフレーム、リードフレーム表面処理、モールド樹脂、半導体チップ等

外形図：



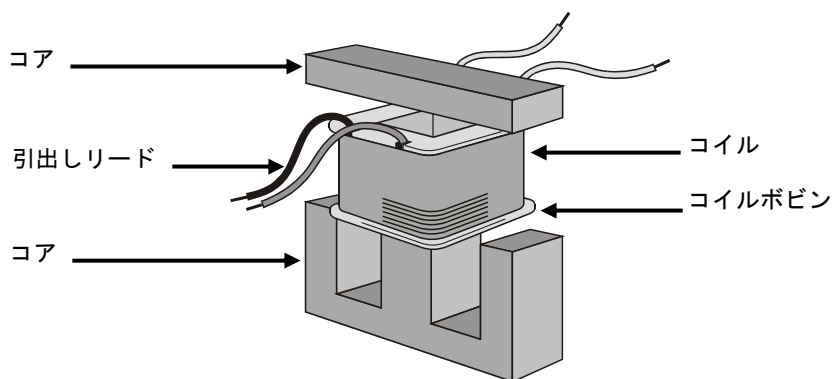
断面図：



- * モールド樹脂材料の難燃剤、リードの材質・処理にご留意下さい。
- * 半導体チップについては、可能な範囲でお答え下さい。

【構成部位の事例6】 トランス、インダクタ類

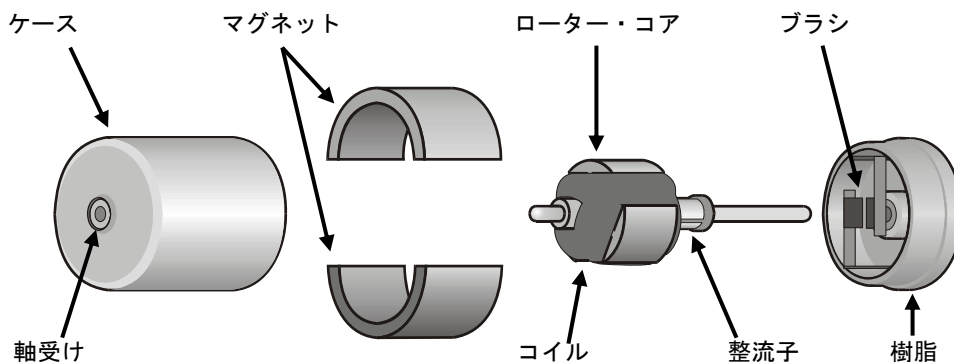
構成部位：コア、巻線、ボビン、リード線、絶縁物、ケース・フレーム等



- * 樹脂材料や絶縁部品の難燃剤、コイルの含浸剤、リード線のPVCや難燃剤にご留意下さい。

【構成部位の事例7】 DCモーター

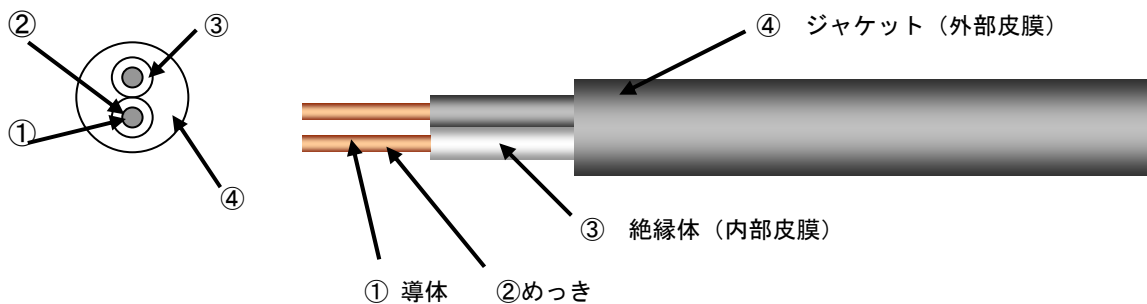
構成部位：部品ケース（樹脂モールド等）、金属部分（シャフト、ローター・コア、端子、フレーム等）、ブラシ等、マグネット、巻線、その他



* 樹脂の難燃剤、整流子の電气的特性・潤滑などを目的とした特別な金属類（合金）等、また軸受け部のグリス等にご留意下さい。

【構成部位の事例8】 電線ケーブル（電源コード）

構成部位：導体、めっき、絶縁体（内部皮膜）、ジャケット（外部皮膜）



大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.	
レベルA							
	C01	表A: アスベスト類	アスベスト類	Asbestos	-	1332-21-4	
			アクチノライト	Actinolite	-	77536-66-4	
			アモサイト(Grunerite)	Amosite (Grunerite)	-	12172-73-5	
			アンソフィライト	Anthophyllite	-	77536-67-5	
			クリソタイル	Chrysotile	-	12001-29-5	
			クロシドライト	Crocidolite	-	12001-28-4	
			トレモライト	Tremolite	-	77536-68-6	
	C02	表B: アゾ染料・顔料から生 成される特定アミン	4-アミノビフェニル	biphenyl-4-ylamine	-	92-67-1	
			ベンジジン	Benzidine	-	92-87-5	
			4-クロロ-2-メチルアニリン	4-chloro-o-toluidine	-	95-69-2	
			2-ナフチルアミン	2-naphthylamine	-	91-59-8	
			o-アミノアゾトルエン	o-aminoazotoluene	-	97-56-3	
			5-ニトロ-o-トルイジン	5-nitro-o-toluidine	-	99-55-8	
			p-クロロアニリン	4-chloroaniline	-	106-47-8	
			2,4-ジアミノアニソール	4-methoxy-m-phenylenediamine	-	615-05-4	
			4,4'-メチレンジアニリン	4,4'-methylenedianiline	-	101-77-9	
			3,3'-ジクロロベンジジン	3,3'-dichlorobenzidine	-	91-94-1	
			3,3'-ジメトキシベンジジン	3,3'-dimethoxybenzidine	-	119-90-4	
			3,3'-ジメチルベンジジン	3,3'-dimethylbenzidine	-	119-93-7	
			4,4'-ジアミノ-3,3'-ジメチルジフェニルメタン	4,4'-methylenedi-o-toluidine	-	838-88-0	
			6-メトキシ-m-トルイジン	6-methoxy-m-toluidine	-	120-71-8	
			4,4'-メチレン-ビス(2-クロロアニリン)	4,4'-methylene-bis(2-chloroaniline)	-	101-14-4	
			4,4'-オキシジアニリン	4,4'-oxydianiline	-	101-80-4	
			4,4'-ジアミノジフェニルスルフィド	4,4'-thiodianiline	-	139-65-1	
			o-トルイジン	o-toluidine	-	95-53-4	
			4-メチル-m-フェニレンジアミン	4-methyl-m-phenylenediamine	-	95-80-7	
			2,4,5-トリメチルアニリン	2,4,5-trimethylaniline	-	137-17-7	
	o-アニシジン	o-anisidine	-	90-04-0			
	4-アミノアゾベンゼン	4-amino azobenzene	-	60-09-3			
	金属類 化合物	A05	表C: カドミウム/カドミウム 化合物	カドミウム	Cadmium	1.000	7440-43-9
				酸化カドミウム	Cadmium oxide	0.875	1306-19-0
				硫化カドミウム	Cadmium sulfide	0.778	1306-23-6
				塩化カドミウム	Cadmium chloride	0.613	10108-64-2
硫酸カドミウム				Cadmium sulfate	0.539	10124-36-4	
その他のカドミウム化合物				Other cadmium compounds	-	-	
A07		表D: 六価クロム化合物	酸化クロム	Chromium (VI) oxide	0.520	1333-82-0	
			クロム酸バリウム	Barium chromate	0.205	10294-40-3	
			クロム酸カルシウム	Calcium chromate	0.333	13765-19-0	
			三酸化クロム	Chromium trioxide	0.520	1333-82-0	
			クロム酸鉛	Lead (II) chromate	0.161	7758-97-6	
			クロム酸ナトリウム	Sodium chromate	0.321	7775-11-3	
			重クロム酸ナトリウム	Sodium dichromate	0.397	10588-01-9	
	クロム酸ストロンチウム		Strontium chromate	0.255	7789-06-2		
	重クロム酸カリウム		Potassium dichromate	0.353	7778-50-9		
	クロム酸カリウム		Potassium chromate	0.268	7789-00-6		
クロム酸亜鉛	Zinc chromate	0.287	13530-65-9				
その他の六価クロム化合物	Other hexavalent chromium compounds	-	-				

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
金属類 化合物	A09	表E: 鉛/鉛化合物	鉛	Lead	1.000	7439-92-1
			硫酸鉛(Ⅱ)	Lead(II) sulfate	0.683	7446-14-2
			炭酸鉛	Lead(II) carbonate	0.775	598-63-0
			炭酸水酸化鉛(亜炭酸鉛)	Lead hydroxidcarbonate	0.801	1319-46-6
			酢酸鉛	Lead acetate	0.637	301-04-2
			酢酸鉛(Ⅱ)、三水和物	Lead (II) acetate, trihydrate	0.546	6080-56-4
			リン酸鉛	Lead phosphate	0.766	7446-27-7
			セレン化鉛	Lead selenide	0.724	12069-00-0
			酸化鉛(Ⅳ)	Lead (IV) oxide	0.866	1309-60-0
			酸化鉛(Ⅱ,Ⅳ)	Lead (II,IV) oxide	0.907	1314-41-6
			硫化鉛(Ⅱ)	Lead (II) sulfide	0.866	1314-87-0
			酸化鉛(Ⅱ)	Lead (II) oxide	0.928	1317-36-8
			塩基性炭酸鉛(Ⅱ)	Lead(II) carbonate basic	0.801	1319-46-6
			炭酸水酸化鉛	Lead hydroxidcarbonate	0.801	1344-36-1
			リン酸鉛(Ⅱ)	Lead(II) phosphate	0.766	7446-27-7
			クロム酸鉛	Lead(II) chromate	0.641	7758-97-6
			チタン酸鉛	Lead(II) titanate	0.686	12060-00-3
			硫酸鉛	Lead sulfate,sulphuric acid, lead salt	1.000	15739-80-7
			三塩基性硫酸鉛	Lead sulphate,tribasic	0.850	12202-17-4
			ステアリン酸鉛	Lead stearate	0.268	1072-35-1
			その他の鉛化合物	Other lead compounds	-	-
	A10	表F: 水銀/水銀化合物	水銀	Mercury	1.000	7439-97-6
			塩化第2水銀	Mercuric chloride	-	33631-63-9
			塩化水銀(Ⅱ)	Mercury (II) chloride	0.739	7487-94-7
			硫酸水銀	Mercuric sulfate	0.676	7783-35-9
			硝酸第2水銀	Mercuric nitrate	0.618	10045-94-0
			酸化水銀(Ⅱ)	Mercuric (II) oxide	0.926	21908-53-2
			硫化第2水銀	Mercuric sulfide	0.862	1344-48-5
			その他の水銀化合物	Other mercury compounds	-	-
	C04	表G: オゾン層破壊物質/異 性体	トリクロロフルオロメタン	Trichlorofluoromethane	-	75-69-4
			ジクロロジフルオロメタン(CFC12)	Dichlorodifluoromethane (CFC12)	-	75-71-8
			塩化フッ化メタン(CFC 13)	Chlorotrifluoromethane (CFC 13)	-	75-72-9
			ペンタクロロフルオロエタン(CFC 111)	Pentachlorofluoroethane (CFC 111)	-	354-56-3
			テトラクロロジフルオロエタン(CFC 112)	Tetrachlorodifluoroethane (CFC 112)	-	76-12-0
			トリクロロトリフルオロエタン(CFC 113)	Trichlorotrifluoroethane (CFC 113)	-	354-58-5
			1,1,2トリクロロ-1,2,2トリフルオロエタン	1,1,2 Trichloro-1,2,2 trifluoroethane	-	76-13-1
			ジクロロテトラフルオロエタン(CFC 114)	Dichlorotetrafluoroethane (CFC 114)	-	76-14-2
			モノクロロペンタフルオロエタン (CFC 115)	Monochloropentafluoroethane (CFC 115)	-	76-15-3
			ヘプタクロロフルオロプロパン (CFC 211)	Heptachlorofluoropropane (CFC 211)	-	422-78-6
					-	135401-87-5
			ヘキサクロロジフルオロプロパン (CFC 212)	Hexachlorodifluoropropane (CFC 212)	-	3182-26-1
			ペンタクロロトリフルオロプロパン (CFC 213)	Pentachlorotrifluoropropane (CFC 213)	-	2354-06-5
					-	134237-31-3
			テトラクロロテトラフルオロプロパン (CFC 214)	Tetrachlorotetrafluoropropane (CFC 214)	-	29255-31-0
			1,1,1,3-テトラクロロテトラフルオロプロパン	1,1,1,3-Tetrachlorotetrafluoropropane	-	2268-46-4
			トリクロロペンタフルオロプロパン (CFC 215)	Trichloropentafluoropropane (CFC 215)	-	1599-41-3
			1,1,1-トリクロロペンタフルオロプロパン	1,1,1-Trichloropentafluoropropane	-	4259-43-2
			1,2,3-トリクロロペンタフルオロプロパン	1,2,3-Trichloropentafluoropropane	-	76-17-5
			ジクロロヘキサフルオロプロパン (CFC 216)	Dichlorohexafluoropropane (CFC 216)	-	661-97-2

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
C04	表G: オゾン層破壊物質ノ異 性体 (続き)	モノクロロヘプタフルオロプロパン (CFC 217)	Monochloroheptafluoropropane (CFC 217)	-	422-86-6	
		ブロモクロロジフルオロメタン (ハロン1211)	Bromochlorodifluoromethane (Halon 1211)	-	353-59-3	
		ブロモトリフルオロメタン (ハロン1301)	Bromotrifluoromethane (Halon 1301)	-	75-63-8	
		ジブロモテトラフルオロエタン (ハロン2402)	Dibromotetrafluoroethane (Halon 2402)	-	124-73-2	
		四塩化炭素(テトラクロロメタン)	Carbon Tetrachloride (Tetrachloromethane)	-	56-23-5	
		1,1,1-トリクロロエタン(メチルクロロホルム)およびその異性体、ただし1,1,2-トリクロロエタンを除く	1,1,1, - Trichloroethane (methyl chloroform) and its isomers except 1,1,2-trichloroethane	-	71-55-6	
		ブロモメタン(臭化メチル)	Bromomethane (Methyl Bromide)	-	74-83-9	
		ジブロモフルオロメタン	Dibromofluoromethane	-	1868-53-7	
		ブロモジフルオロメタン	Bromodifluoromethane	-	1511-62-2	
		ブロモフルオロメタン	Bromofluoromethane	-	373-52-4	
		テトラブロモフルオロエタン	Tetrabromofluoroethane	-	306-80-9	
		トリブロモジフルオロエタン	Tribromodifluoroethane	-	-	
		ジブロモトリフルオロエタン	Dibromotrifluoroethane	-	354-04-1	
		ブロモテトラフルオロエタン	Bromotetrafluoroethane	-	124-72-1	
		トリブロモフルオロエタン	Tribromofluoroethane	-	-	
		ジブロモジフルオロエタン	Dibromodifluoroethane	-	75-82-1	
		ブロモトリフルオロエタン	Bromotrifluoroethane	-	421-06-7	
		ジブロモフルオロエタン	Dibromofluoroethane	-	358-97-4	
		ブロモジフルオロエタン	Bromodifluoroethane	-	420-47-3	
		ブロモフルオロエタン	Bromofluoroethane	-	762-49-2	
		ヘキサブロモフルオロプロパン	Hexabromofluoropropane	-	-	
		ペンタブロモジフルオロプロパン	Pentabromodifluoropropane	-	-	
		テトラブロモトリフルオロプロパン	Tetrabromotrifluoropropane	-	-	
		トリブロモテトラフルオロプロパン	Tribromotetrafluoropropane	-	-	
		ジブロモペンタフルオロプロパン	Dibromopentafluoropropane	-	431-78-7	
		ブロモヘキサフルオロプロパン	Bromohexafluoropropane	-	2252-78-0	
		ペンタブロモフルオロプロパン	Pentabromofluoropropane	-	-	
		テトラブロモジフルオロプロパン	Tetrabromodifluoropropane	-	-	
		トリブロモトリフルオロプロパン	Tribromotrifluoropropane	-	-	
		ジブロモテトラフルオロプロパン	Dibromotetrafluoropropane	-	-	
		ブロモペンタフルオロプロパン	Bromopentafluoropropane	-	460-88-8	
		テトラブロモフルオロプロパン	Tetrabromofluoropropane	-	-	
		トリブロモジフルオロプロパン	Tribromodifluoropropane	-	70192-80-2	
		ジブロモトリフルオロプロパン	Dibromotrifluoropropane	-	431-21-0	
		ブロモテトラフルオロプロパン	Bromotetrafluoropropane	-	679-84-5	
		トリブロモフルオロプロパン	Tribromofluoropropane	-	75372-14-4	
		ジブロモジフルオロプロパン	Dibromodifluoropropane	-	460-25-3	
		ブロモトリフルオロプロパン	Bromotrifluoropropane	-	421-46-5	
		ジブロモフルオロプロパン	Dibromofluoropropane	-	51584-26-0	
		ブロモジフルオロプロパン	Bromodifluoropropane	-	-	
		ブロモフルオロプロパン	Bromofluoropropane	-	1871-72-3	
		ブロモクロロメタン	Bromochloromethane	-	74-97-5	

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
C04	表H: ハイドロクロロフルオロ カーボン類/ 異性体	ジクロロフルオロメタン (HCFC 21)	Dichlorofluoromethane (HCFC 21)	-	75-43-4	
		クロロジフルオロメタン (HCFC 22)	Chlorodifluoromethane (HCFC 22)	-	75-45-6	
		クロロフルオロメタン (HCFC 31)	Chlorofluoromethane (HCFC 31)	-	593-70-4	
		テトラクロロフルオロエタン (HCFC 121)	Tetrachlorofluoroethane (HCFC 121)	-	134237-32-4	
		1,1,1,2-テトラクロロ-2-フルオロエタン (HCFC 121a)	1,1,1,2-tetrachloro-2-fluoroethane (HCFC 121a)	-	354-11-0	
		1,1,2,2-テトラクロロ-1-フルオロエタン	1,1,2,2-tetracloro-1-fluoroethane	-	354-14-3	
		トリクロロジフルオロエタン (HCFC 122)	Trichlorodifluoroethane (HCFC 122)	-	41834-16-6	
		1,2,2-トリクロロ-1,1-ジフルオロエタン	1,2,2-trichloro-1,1-difluoroethane	-	354-21-2	
		ジクロロトリフルオロエタン(HCFC 123)	Dichlorotrifluoroethane(HCFC 123)	-	34077-87-7	
		ジクロロ-1,1,2-トリフルオロエタン	Dichloro-1,1,2-trifluoroethane	-	90454-18-5	
		2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン	2,2-dichloro-1,1,1-trifluoroethane	-	306-83-2	
		1,2-ジクロロ-1,1,2-トリフルオロエタン (HCFC-123a)	1,2-dichloro-1,1,2-trifluoroethane (HCFC-123a)	-	354-23-4	
		1,1-ジクロロ-1,2,2-トリフルオロエタン (HCFC-123b)	1,1-dichloro-1,2,2-trifluoroethane (HCFC-123b)	-	812-04-4	
		2,2-ジクロロ-1,1,2-トリフルオロエタン (HCFC-123b)	2,2-dichloro-1,1,2-trifluoroethane (HCFC-123b)	-	812-04-4	
		クロロテトラフルオロエタン (HCFC 124)	Chlorotetrafluoroethane (HCFC 124)	-	63938-10-3	
		2-クロロ-1,1,1,2-テトラフルオロエタン	2-chloro-1,1,1,2-tetrafluoroethane	-	2837-89-0	
		1-クロロ-1,1,2,2-テトラフルオロエタン (HCFC 124a)	1-chloro-1,1,2,2-tetrafluoroethane (HCFC 124a)	-	354-25-6	
		トリクロロフルオロエタン (HCFC 131)	Trichlorofluoroethane (HCFC 131)	-	27154-33-2;(134237-34-6)	
		1-フルオロ-1,2,2-トリクロロエタン	1-Fluoro-1,2,2-trichloroethane	-	359-28-4	
		1,1,1-トリクロロ-2-フルオロエタン (HCFC131b)	1,1,1-trichloro-2-fluoroethane (HCFC131b)	-	811-95-0	
		1-クロロ-1-フルオロエタン (HCFC-151)	1-Chloro-1-fluoroethane (HCFC-151)	-	1615-75-4	
		ジクロロジフルオロエタン (HCFC 132)	Dichlorodifluoroethane (HCFC 132)	-	25915-78-0	
		1,2-ジクロロ-1,1-ジフルオロエタン (HCFC 132b)	1,2-dichloro-1,1-difluoroethane (HCFC 132b)	-	1649-08-7	
		1,1-ジクロロ-1,2-ジフルオロエタン (HCFC 132c)	1,1-dichloro-1,2-difluoroethane (HCFC 132c)	-	1842-05-3	
		1,1-ジクロロ-2,2-ジフルオロエタン	1,1-dichloro-2,2-difluoroethane	-	471-43-2	
		1,2-ジクロロ-1,2-ジフルオロエタン	1,2-dichloro-1,2-difluoroethane	-	431-06-1	
		クロロトリフルオロエタン (HCFC 133)	Chlorotrifluoroethane (HCFC 133)	-	1330-45-6	
		1-クロロ-1,2,2-トリフルオロエタン	1-chloro-1,2,2-trifluoroethane	-	1330-45-6	
		2-クロロ-1,1,1-トリフルオロエタン (HCFC-133a)	2-chloro-1,1,1-trifluoroethane (HCFC-133a)	-	75-88-7	
		ジクロロフルオロエタン(HCFC 141)	Dichlorofluoroethane(HCFC 141)	-	1717-00-6; (25167-88-8)	
		1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC-141b)	1,1-dichloro-1-fluoroethane (HCFC-141b)	-	1717-00-6	
		1,2-ジクロロ-1-フルオロエタン	1,2-dichloro-1-fluoroethane	-	430-57-9	
クロロジフルオロエタン (HCFC 142)	Chlorodifluoroethane (HCFC 142)	-	25497-29-4			
1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン (HCFC142b)	1-chloro-1,1-difluoroethane (HCFC142b)	-	75-68-3			
1-クロロ-1,2-ジフルオロエタン (HCFC142a)	1-chloro-1,2-difluoroethane (HCFC142a)	-	25497-29-4			
ヘキサクロロフルオロプロパン (HCFC 221)	Hexachlorofluoropropane (HCFC 221)	-	134237-35-7			
ペンタクロロジフルオロプロパン (HCFC 222)	Pentachlorodifluoropropane (HCFC 222)	-	134237-36-8			
テトラクロロトリフルオロプロパン (HCFC 223)	Tetrachlorotrifluoropropane (HCFC 223)	-	134237-37-9			
トリクロロテトラフルオロプロパン (HCFC 224)	Trichlorotetrafluoropropane (HCFC 224)	-	134237-38-0			
ジクロロペンタフルオロプロパン, (エチン, フルオロ-)(HCFC225)	Dichloropentafluoropropane, (Ethyne, fluoro-) (HCFC225)	-	127564-92-5; (2713-09-9)			

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
C04	表H: ハイドロクロロフルオロ カーボン類/ 異性体(続き)	2,2-ジクロロ-1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225aa)	2,2-Dichloro-1,1,1,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225aa)	-	128903-21-9	
		2,3-ジクロロ-1,1,1,2,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225ba)	2,3-Dichloro-1,1,1,2,3-pentafluoropropane(HCFC 225ba)	-	422-48-0	
		1,2-ジクロロ-1,1,2,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225bb)	1,2-Dichloro-1,1,2,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225bb)	-	422-44-6	
		3,3-ジクロロ-1,1,1,2,2-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225ca)	3,3-Dichloro-1,1,1,2,2-pentafluoropropane(HCFC 225ca)	-	422-56-0	
		1,3-ジクロロ-1,1,2,2,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225cb)	1,3-Dichloro-1,1,2,2,3-pentafluoropropane(HCFC 225cb)	-	507-55-1	
		1,1-ジクロロ-1,2,2,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225cc)	1,1-Dichloro-1,2,2,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225cc)	-	13474-88-9	
		1,2-ジクロロ-1,1,3,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225da)	1,2-Dichloro-1,1,3,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225da)	-	431-86-7	
		1,3-ジクロロ-1,1,2,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225ea)	1,3-Dichloro-1,1,2,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225ea)	-	136013-79-1	
		1,1-ジクロロ-1,2,3,3,3-ペンタフルオロプロパン(HCFC 225eb)	1,1-Dichloro-1,2,3,3,3-pentafluoropropane(HCFC 225eb)	-	111512-56-2	
		クロロヘキサフルオロプロパン(HCFC 226)	Chlorohexafluoropropane(HCFC 226)	-	134308-72-8	
		ペンタクロロフルオロプロパン(HCFC 231)	Pentachlorofluoropropane(HCFC 231)	-	134190-48-0	
		テトラクロロジフルオロプロパン(HCFC 232)	Tetrachlorodifluoropropane(HCFC 232)	-	134237-39-1	
		トリクロロトリフルオロプロパン(HCFC 233)	Trichlorotrifluoropropane(HCFC 233)	-	134237-40-4	
		1,1,1-トリクロロ-3,3,3-トリフルオロプロパン	1,1,1-Trichloro-3,3,3-trifluoropropane	-	7125-83-9	
		ジクロロテトラフルオロプロパン(HCFC 234)	Dichlorotetrafluoropropane(HCFC 234)	-	127564-83-4	
		クロロペンタフルオロプロパン(HCFC 235)	Chloropentafluoropropane(HCFC 235)	-	134237-41-5	
		1-クロロ-1,1,3,3,3-ペンタフルオロプロパン	1-Chloro-1,1,3,3,3-pentafluoropropane	-	460-92-4	
		テトラクロロフルオロプロパン(HCFC 241)	Tetrachlorofluoropropane(HCFC 241)	-	134190-49-1	
		トリクロロジフルオロプロパン(HCFC 242)	Trichlorodifluoropropane(HCFC 242)	-	134237-42-6	
		ジクロロトリフルオロプロパン(HCFC 243)	Dichlorotrifluoropropane(HCFC 243)	-	134237-43-7	
		1,1-ジクロロ1,2,2-トリフルオロプロパン	1,1-dichloro-1,2,2-trifluoropropane	-	7125-99-7	
		2,3-ジクロロ1,1,1-トリフルオロプロパン	2,3-dichloro-1,1,1-trifluoropropane	-	338-75-0	
		3,3-ジクロロ1,1,1-トリフルオロプロパン	3,3-Dichloro-1,1,1-trifluoropropane	-	460-69-5	
		クロロテトラフルオロプロパン(HCFC 244)	Chlorotetrafluoropropane(HCFC 244)	-	134190-50-4	
		3-クロロ-1,1,2,2-テトラフルオロプロパン	3-chloro-1,1,2,2-tetrafluoropropane	-	679-85-6	
		トリクロロフルオロプロパン(HCFC 251)	Trichlorofluoropropane(HCFC 251)	-	134190-51-5	
		1,1,3-トリクロロ-1-フルオロプロパン	1,1,3-trichloro-1-fluoropropane	-	818-99-5	
		ジクロロジフルオロプロパン(HCFC 252)	Dichlorodifluoropropane(HCFC 252)	-	134190-52-6	
		クロロトリフルオロプロパン(HCFC 253)	Chlorotrifluoropropane(HCFC 253)	-	134237-44-8	
		3-クロロ-1,1,1-トリフルオロプロパン(HCFC 253fb)	3-chloro-1,1,1-trifluoropropane(HCFC 253fb)	-	460-35-5	
		ジクロロフルオロプロパン(HCFC 261)	Dichlorofluoropropane(HCFC 261)	-	134237-45-9	
		1,1-ジクロロ1-フルオロプロパン	1,1-dichloro-1-fluoropropane	-	7799-56-6	
		クロロジフルオロプロパン(HCFC 262)	Chlorodifluoropropane(HCFC 262)	-	134190-53-7	
2-クロロ-1,3-ジフルオロプロパン	2-chloro-1,3-difluoropropane	-	102738-79-4			
クロロフルオロプロパン(HCFC 271)	Chlorofluoropropane(HCFC 271)	-	134190-54-8			
2-クロロ-2-フルオロプロパン	2-chloro-2-fluoropropane	-	420-44-0			

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名 (和名)	Substance name (英語名)	金属換算 係数	CAS No.	
B02	表I: ポリ臭化ビフェニル類 (PBB類)	ポリ臭化ビフェニル類	Polybrominated Biphenyls	-	59536-65-1		
		ジブロモビフェニル	Dibromobiphenyl	-	92-86-4		
		2-ブロモビフェニル	2-Bromobiphenyl	-	2052-07-5		
		3-ブロモビフェニル	3-Bromobiphenyl	-	2113-57-7		
		4-ブロモビフェニル	4-Bromobiphenyl	-	92-66-0		
		トリブロモビフェニル	Tribromobiphenyl	-	59080-34-1		
		テトラブロモビフェニル	Tetrabromobiphenyl	-	40088-45-7		
		ペンタブロモビフェニル	Pentabromobiphenyl	-	56307-79-0		
		ヘキサブロモビフェニル	Hexabromobiphenyl	-	59080-40-9		
		ヘキサブロモ-1,1'-ビフェニル	hexabromo-1,1'-biphenyl	-	36355-01-8		
		ファイアーマスター FF-1 (Firemaster FF-1)	Firemaster FF-1	-	67774-32-7		
		ヘプタブロモビフェニル	Heptabromobiphenyl	-	35194-78-6		
		オクタブロモビフェニル	Octabromobiphenyl	-	61288-13-9		
		ノナブロモ-1,1'-ビフェニル	Nonabiphenyl	-	27753-52-2		
		デカブロモビフェニル	Decabromobiphenyl	-	13654-09-6		
		B03	表J: ポリ臭化ジフェニル・ エーテル類 (PBDE類)	ブロモジフェニルエーテル	Bromodiphenyl ether	-	101-55-3
				ジブロモジフェニルエーテル	Dibromodiphenyl ethers	-	2050-47-7
				トリブロモジフェニルエーテル	Tribromodiphenyl ether	-	49690-94-0
				テトラブロモジフェニルエーテル	Tetrabromodiphenyl ethers	-	40088-47-9
				ペンタブロモジフェニルエーテル (注:市販のPeBDPOは、種々の臭素化ジフェニルオキシドを含む複雑な反応混合物である)	Pentabromodiphenyl ether (note: Commercially available PeBDPO is a complex reaction mixture containing a variety of brominated diphenyloxides.)	-	32534-81-9 (商用銘柄のPeBDPOに使用されるCAS No.)
ヘキサブロモジフェニルエーテル	Hexabromodiphenyl ether			-	36483-60-0		
ヘクタブロモジフェニルエーテル	Heptabromodiphenylether			-	68928-80-3		
オクタブロモジフェニルエーテル	Octabromodiphenyl ether			-	32536-52-0		
ノナブロモジフェニルエーテル	Nonabromodiphenylether			-	63936-56-1		
デカブロモジフェニルエーテル	Decabromodiphenyl ether			-	1163-19-5		
B05	表K: ポリ塩化ビフェニル類 (PCB類) およびポリ塩 化ターフェニル類 (PCT 類)	ポリ塩化ビフェニル類	Polychlorinated Biphenyls	-	1336-36-3		
		アロクロール (Aroclor)	Aroclor	-	12767-79-2		
		クロロジフェニル (アロクロール1260)	Chlorodiphenyl (Aroclor 1260)	-	11096-82-5		
		カネクロール (Kanechlor) 500	Kanechlor 500	-	27323-18-8		
		アロクロール1254	Aroclor 1254	-	11097-69-1		
		モノメチル-テトラクロロ-ジフェニルメタン (Ugilec 141)	Monomethyl-tetrachloro-diphenyl methane (Ugilec 141)	-	76253-60-6		
		モノメチル-ジクロロ-ジフェニルメタン (Ugilec121, Ugilec21)	Monomethyl-dichloro-diphenyl methane (Ugilec 121, Ugilec 21)	-	-		
		モノメチル-ジブロモ-ジフェニルメタン (DBBT)	Monomethyl-dibromo-diphenyl methane (DBBT)	-	99688-47-8		
		PCT (ポリ塩化ターフェニル)	Polychlorinated Terphenyls	-	61788-33-8		
B06	表L: ポリ塩化ナフタレン	ポリ塩化ナフタレン	Polychlorinated Naphthalenes	-	70776-03-3		
		その他のポリ塩化ナフタレン	Other polychlorinated Naphthalenes	-	-		
C06	表M: 放射性物質 (放射性同位元素)	ウラン	Uranium	-	-		
		プルトニウム	Plutonium	-	-		
		ラドン	Radon	-	-		
		アメリシウム	Americium	-	-		
		トリウム	Thorium	-	-		
		セシウム (放射性同位元素のみ)	Cesium	-	-		
		ストロンチウム (放射性同位元素のみ)	Strontium	-	-		
		その他の放射性物質	Other radioactive substances	-	-		
B09	表N: 短鎖型塩化パラフィン (C10-13)	塩化パラフィン (C10-13)	Chlorinated paraffins (C10-13)	-	85535-84-8		

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
	A17	表O: トリブチルスズ=オキシド	ビス(トリ-n-ブチルスズ)=オキシド	Bis(tri-n-butyltin) oxide	-	56-35-9
	A18	表P: 一部のトリブチルスズ (TBT類)およびトリフェ ニルスズ(TPT類)	トリフェニルスズ=N,N'-ジメチルジチオカル バマート	Triphenyltin=N, N- dimethyldithiocarbamate	-	1803-12-9
			トリフェニルスズ=フルオリド	Triphenyltinfluoride	-	379-52-2
			トリフェニルスズ=アセタート	Triphenyltinacetate	-	900-95-8
			トリフェニルスズ=クロリド	Triphenyltinchloride	-	639-58-7
			トリフェニルスズ=ヒドロキシド	Triphenyltinhydroxide	-	76-87-9
			トリフェニルスズ脂肪酸塩(C=9~11)	Triphenyltin fattyacid((9-11)salt)	-	18380-71-7
						18380-72-8
						47672-31-1
						94850-90-5
			トリフェニルスズ=クロロアセタート	Triphenyltinchloroacetate	-	7094-94-2
			トリブチルスズ=メタクリラート	Tributyltinmethacrylate	-	2155-70-6
			ビス(トリブチルスズ)=フマラート	Bis(tributyltin)fumalate	-	6454-35-9
			トリブチルスズ=フルオリド	Tributyltinfluoride	-	1983-10-4
			ビス(トリブチルスズ)=2,3-ジブロモスクシ ナート	Bis(tributyltin)2,3-dibromosuccinate	-	31732-71-5
			トリブチルスズ=アセタート	Tributyltinacetate	-	56-36-0
			トリブチルスズ=ラウラート	Tributyltinlaurate	-	3090-36-6
			ビス(トリブチルスズ)=フタラート	Bis(tributyltin)phthalate	-	4782-29-0
			アルキル=アクリラート、メチル=メタクリラート、およびトリブチルスズ=メタクリラートの共重合体(アルキル:C=8)	Copolymer of alkyl(c=8) acrylate,methyl methacrylate and tributyltin methacrylate	-	67772-01-4
			トリブチルスズ=スルファマート	Tributyltinsulfamate	-	6517-25-5
			ビス(トリブチルスズ)マレアート	Bis(tributyltin)maleate	-	14275-57-1
			トリブチルスズ=クロリド	Tributyltinchloride	-	1461-22-9, 7432-38-3
			トリブチルスズ=シクロペンタンカルボキシ ラートおよびその類縁化合物(トリブチルス ズ=ナフテン酸)の混合物	Tributyltin cyclopentane carbonate=mixture	-	5409-17-2
			トリブチルスズ=1,2,3,4,4a,4b,5,6,10,10a-デ カヒドロ-7-イソプロピル-1,4a-ジメチル 1-フェナントレンカルボキシラート及びその 類縁化合物(トリブチルスズ=ロジンソルト) の混合物	Tributyltin-1, 2,3,4,4a, 4b, 5,6,10,10a-decahydro-7-isopropyl-1, 4a-dimethyl-1- phenanthrenecarboxylatemix	-	26239-64-5
レベルB						
金属類 化合物	A01	表Q: アンチモン/アンチモ ン化合物	アンチモン(金属性)	Antimony (metallic)	1.000	7440-36-0
			三酸化アンチモン	Antimony trioxide	0.835	1309-64-4
			五酸化アンチモン	Antimony pentoxide	0.753	1314-60-9
			三塩化アンチモン	Antimony trichloride	0.534	10025-91-9
			アンチモン酸ナトリウム	Sodium antimonate	0.632	15432-85-6
			その他のアンチモン化合物	Other antimony compounds	-	-
	A02	表R: ヒ素/ヒ素化合物	ヒ素	Arsenic	1.000	7440-38-2
			ガリウムヒ素	Gallium arsenide	0.518	1303-00-0
			ヒ酸カルシウム	Calcium arsenate	0.419	7778-44-1
			亜ヒ酸カルシウム	Calcium arsenite	0.409	27152-57-4
			五酸化ヒ素	Arsenic pentoxide	0.652	1303-28-2
			三酸化ヒ素	Arsenic trioxide	0.757	1327-53-3
			亜ヒ酸カリウム	Potassium arsenite	0.513	10124-50-2
			ヒ酸カリウム	Potassium arsenate	0.416	7784-41-0

大分類	JGPSSI物質群分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算係数	CAS No.
金属類化合物	A02	表R: ヒ素/ヒ素化合物 (続き)	ヒ酸鉛	Lead arsenate	0.167	3687-31-8
			その他のヒ素化合物	Other arsenic compounds	-	
	A03	表S: ベリリウム/ベリリウム化合物	ベリリウム	Beryllium	1.000	7440-41-7
			ベリリウム-アルミニウム合金	Beryllium-aluminum alloy	-	12770-50-2
			塩化ベリリウム	Beryllium chloride	0.113	7787-47-5
			フッ化ベリリウム	Beryllium fluoride	0.192	7787-49-7
			水酸化ベリリウム	Beryllium hydroxide	0.210	13327-32-7
			酸化ベリリウム	Beryllium oxide	0.360	1304-56-9
			リン酸ベリリウム	Beryllium phosphate	0.145	13598-15-7
			硫酸ベリリウム	Beryllium sulfate	0.086	13510-49-1
			硫酸ベリリウム四水和物	Beryllium sulfate tetrahydrate	0.051	7787-56-6
			ベリル鉱石	Beryl ore	0.050	1302-52-9
	その他のベリリウム化合物	Other beryllium compounds	-	-		
	A04	表T: ビスマス/ビスマス化合物	ビスマス	Bismuth	1.000	7440-69-9
三酸化ビスマス			Bismuth trioxide	0.897	1304-76-3	
硝酸ビスマス			Bismuth nitrate	0.529	10361-44-1	
その他のビスマス化合物			Other bismuth compounds	-	-	
B08	表U: 臭素系難燃剤(PBB類、PBDE類をのぞく)	ISO 1043-4コード番号FR(14)[脂肪族/脂環式臭素化合物]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(14)[Aliphatic/alicyclic brominated compounds]	-	-	
		ISO 1043-4コード番号FR(15)[脂肪族/脂環式臭素化合物とアンチモン化合物の組み合わせ]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(15)[Aliphatic/alicyclic brominated compounds in combination with antimony compounds]	-	-	
		ISO 1043-4コード番号FR(16)[芳香族臭素化合物(臭素化ジフェニルエーテル及びビフェニルを除く)]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(16)[Aromatic brominated compounds excluding brominated diphenyl ether and biphenyls]	-	-	
		ISO 1043-4コード番号FR(17)[芳香族臭素化合物(臭素化ジフェニルエーテル及びビフェニルを除く)とアンチモン化合物の組み合わせ]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(17)[Aromatic brominated compounds excluding brominated diphenyl ether and biphenyls] in combination with antimony compounds]	-	-	
		ISO 1043-4コード番号FR(22)[脂肪族/脂環式塩素化及び臭素化合物]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(22)[Aliphatic/alicyclic chlorinated and brominated compounds]	-	-	
		ISO 1043-4コード番号FR(42)[臭素化有機リン化合物]の表記法に該当する臭素系難燃剤	Brominated flame retardant which comes under notation of ISO 1043-4 code number FR(42)[Brominated organic phosphorus compounds]	-	-	
		ポリ(2,6-ジブロモフェニレンオキシド)	Poly(2,6-dibromo-phenylene oxide)	-	69882-11-7	
		テトラデカブロモ-P-ジフェノキシベンゼン	Tetra-decabromo-diphenoxy-benzene	-	58965-66-5	
		1,2-ビス(2,4,6-トリブロモフェノキシ)エタン	1,2-Bis(2,4,6-tribromo-phenoxy)ethane	-	37853-59-1	
		3,5,3',5'-テトラブロモビスフェノール A(TBBA)	3,5,3',5'-Tetrabromo-bisphenol A (TBBA)	-	79-94-7	
		TBBA(構造特定せず)	TBBA, unspecified	-	30496-13-0	

大分類	JGPSSI物質群分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算係数	CAS No.
B08	表U: 臭素系難燃剤(PBB類、PBDE類をのぞく) (続き)	TBBA(エピクロロヒドリンオリゴマー)	TBBA-epichlorhydrin oligomer	-	40039-93-8	
		TBBA(TBBA-ジグリシジルエーテルオリゴマー)	TBBA-TBBA-diglycidyl-ether oligomer	-	70682-74-5	
		TBBA(炭酸オリゴマー)	TBBA carbonate oligomer	-	28906-13-0	
		BC-52テトラブロモビスフェノールA (TBBA炭酸オリゴマー、フェノキシエンドキャップト)	TBBA carbonate oligomer, phenoxy end capped	-	94344-64-2	
		BC-58テトラブロモビスフェノールA (TBBA炭酸オリゴマー、2,4,6-トリブロモフェノールターミネイテッド)	TBBA carbonate oligomer, 2,4,6-tribromo-phenol terminated	-	71342-77-3	
		TBBAビスフェノールAホスゲンポリマー	TBBA-bisphenol A-phosgene polymer	-	32844-27-2	
		臭素化エポキシレジン、トリブロモフェノールエンドキャップト	Brominated epoxy resin end-capped with tribromophenol	-	139638-58-7	
		臭素化エポキシレジン、トリブロモフェノールエンドキャップト	Brominated epoxy resin end-capped with tribromophenol	-	135229-48-0	
		TBBA-(2,3-ジブロモプロピルエーテル)	TBBA-(2,3-dibromo-propyl-ether)	-	21850-44-2	
		TBBAビス-(2-ヒドロキシエチルエーテル)	TBBA bis-(2-hydroxy-ethyl-ether)	-	4162-45-2	
		TBBAビス(アリルエーテル)	TBBA-bis-(allyl-ether)	-	25327-89-3	
		TBBAジメチルエーテル	TBBA-dimethyl-ether	-	37853-61-5	
		テトラブロモビスフェノールS	Tetrabromo-bisphenol S	-	39635-79-5	
		TBBSビス-(2,3-ジブロモプロピルエーテル)	TBBS-bis-(2,3-dibromo-propyl-ether)	-	42757-55-1	
		2,4-ジブロモフェノール	2,4-Dibromo-phenol	-	615-58-7	
		2,4,6-トリブロモフェノール	2,4,6-tribromo-phenol	-	118-79-6	
		ペンタブロモフェノール	Pentabromo-phenol	-	608-71-9	
		2,4,6-トリブロモフェニルアリルエーテル	2,4,6-Tribromo-phenyl-allyl-ether	-	3278-89-5	
		トリブロモフェニルアリルエーテル(構造特定せず)	Tribromo-phenyl-allyl-ether, unspecified	-	26762-91-4	
		テトラブロモフタル酸ジメチル	Bis(methyl)tetrabromo-phthalate	-	55481-60-2	
		テトラブロモフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	Bis(2-ethylhexyl)tetrabromo-phthalate	-	26040-51-7	
		2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチル-2-ヒドロキシプロピルテトラブロモフタレート	2-Hydroxy-propyl-2-(2-hydroxy-ethoxy)-ethyl-TBP	-	20566-35-2	
		TBPA、グリコール-アンドプロピレン-オキシドエステル	TBPA, glycol-and propylene-oxide esters	-	75790-69-1	
		N,N'-エチレン-ビス-(テトラブロモ-フタルイミド)	N,N'-Ethylene -bis-(tetrabromo-phthalimide)	-	32588-76-4	
		エチレン-ビス(5,6ジブロモノルボルナン-2,3-ジカルボキシミド)	Ethylene-bis(5,6-dibromo-norbornane-2,3-dicarboximide)	-	52907-07-0	
		2,3-ジブロモ-2-ブテン-1,4-ジオール	2,3-Dibromo-2-butene-1,4-diol	-	3234-02-4	
		ジブロモネオペンチルグリコール	Dibromo-neopentyl-glycol	-	3296-90-0	
		2,3-ジブロモプロパノール	Dibromo-propanol	-	96-13-9	
		トリブロモ-ネオペンチルアルコール	Tribromo-neopentyl-alcohol	-	36483-57-5	
		ポリトリブロモスチレン	Poly tribromo-styrene	-	57137-10-7	
		トリブロモスチレン	Tribromo-styrene	-	61368-34-1	
		ジブロモ-スチレン、PPグラフト	Dibromo-styrene grafted PP	-	171091-06-8	
		ポリジブロモスチレン	Poly-dibromo-styrene	-	31780-26-4	
		ブロモ/クロロパラフィン類	Bromo-/Chloro-paraffins	-	68955-41-9	
		ブロモ/クロロアルファオレフィン	Bromo-/Chloro-alpha-olefin	-	82600-56-4	
		ブロモエチレン	Vinylbromide	-	593-60-2	
		トリス(2,3-ジブロモプロピル)イソシアヌレート	Tris-(2,3-dibromo-propyl)-isocyanurate	-	52434-90-9	
		トリス(2,4-ジブロモフェニル)フォスフェート	Tris(2,4-Dibromo-phenyl) phosphate	-	49690-63-3	
		トリス(トリブロモ-ネオペンチル)フォスフェート	Tris(tribromo-neopentyl) phosphate	-	19186-97-1	

大分類	JGPSSI 物質群 分類No.	JIG物質群	JIG例示物質名(和名)	Substance name(英語名)	金属換算 係数	CAS No.
	B08	表U: 臭素系難燃剤(PBB 類、PBDE類をのぞく) (続き)	塩素化、臭素化リン酸エステル	Chlorinated and brominated phosphate ester	-	125997-20-8
			ペンタブロモトルエン	Pentabromo-toluene	-	87-83-2
			ペンタブロモベンジルブロミド	Pentabromo-benzyl bromide	-	38521-51-6
			臭素化1,3-ブタジエンホモポリマー	1,3-Butadiene homopolymer, brominated	-	68441-46-3
			ペンタブロモベンジルアクリレートモノマー	Pentabromo-benzyl-acrylate, monomer	-	59447-55-1
			ペンタブロモベンジルアクリレートポリマー	Pentabromo-benzyl-acrylate, polymer	-	59447-57-3
			デカブロモジフェニルエタン	Decabromo-diphenyl-ethane	-	84852-53-9
			トリブロモビスフェニルマレインイミド	Tribromo-bisphenyl-maleinimide	-	59789-51-4
			臭素化トリメチルフェニルリンデン	Brominated trimethylphenyl- <i>l</i> indane	-	59789-51-4
			その他の臭素系難燃剤	Other Brominated Flame Retardants	-	-
			1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン (HBCD)	Hexabromo-cyclo-dodecane (HBCD), unspecified	-	3194-55-6
			テトラブロモシクロオクタン	Tetrabromo-chyclo-octane	-	31454-48-5
			1,2-ジブロモ-4-(1,2-ジブロモエチル)シク ロヘキサン	1,2-Dibromo-4-(1,2 dibromo-methyl)- cyclo-hexane	-	3322-93-8
			TBPA Naソルト	TBPA Na salt	-	25357-79-3
			テトラブロモフタル酸無水物	Tetrabromo phthalic-anhydride	-	632-79-1
金属類 化合物	A11	表V: ニッケル	ニッケル	Nickel	1.000	7440-02-0
	C05	表W: フタル酸エステル類	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)	Bis (2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)	-	117-81-7
			フタル酸ジブチル(DBP)	Dibutylphthalate (DBP)	-	84-74-2
			フタル酸ジイソノニル(DINP)	Diisononyl phthalate (DINP)	-	28553-12-0
			フタル酸ジイソデシル(DIDP)	1,2-Benzenedicarboxylic acid diisodecyl ester (DIDP)	-	26761-40-0
			フタル酸ブチルベンジル(BBP)	Butyl benzyl phthalate (BBP)	-	85-68-7
			フタル酸ジ-n-オクチル(DNOP)	Di-n-octyl phthalate (DNOP)	-	117-84-0
				A13	表X: セレン/セレン化合物	セレン
セレン化水素	Hydrogen selenide	0.975				7783-07-5
セレン化ナトリウム	Sodium selenide	0.632				1313-85-5
酸化セレン	Selenium dioxide	0.712				7446-08-4
セレン酸ナトリウム	Sodium selenate	-				10112-94-4
ジメチルセレン化合物	Dimethyl selenide	0.724				593-79-3
二酸化セレン	Selenium oxide	-				12640-89-0
その他のセレン化合物	Other selenium compounds	-				-
	B07	表Y: ポリ塩化ビニル	ポリ塩化ビニル(PVC)	Polyvinyl chloride (PVC)	-	9002-86-2

別紙6. 調査回答フォーマット（データフォーマット）

出力ファイル（JGPファイル）仕様

1 行コード

基本情報行1	行コード 100
基本情報行2	行コード 110
基本情報行3	行コード 120
部品単位行	行コード 200
物質群単位行	行コード 300
物質単位行	行コード 400
材料単位行	行コード 500
使用用途・部位単位行	行コード 600

上記の8種類の行を設定し、行の先頭は各コードを記述する
データの関係は、行の順番により表す

2 化学物質用JGPファイル構成Ver 3.00

- ・1ファイルに基本情報行1, 2, 3は各1行とする
- ・1ファイルに複数の部品が存在可能
- ・1つの部品に対して複数の物質群が対応可能
- ・1つの物質群に対して複数の使用用途・部位が対応可能
- ・1つの部品に含まれる物質群は、部品単位行の次の行の物質群単位行として記述する
- ・1つの物質群に対応する使用用途・部位は、物質群単位行の次の行の使用用途・部位単位行として記述する
- ・データの区切りは、TABとする

JGPファイルイメージ



【依頼元および回答元の情報】

依頼元 の情報	整理番号	
	依頼元記入日	
	会社名	
	DUNSナンバー	
	部署名	
	担当者名	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-MAILアドレス	

回答元 の情報	回答元記入日	
	会社名	
	DUNSナンバー	
	部署名	
	住所	
	担当者名	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-MAILアドレス	
	回答に関する追加情報	

【部品の基本情報】

部品番号	部品名称	メーカー名	型番	データバージョン	改訂日	調査単位	調査単位 質量	含有総合判定 (Y/N)
							(g)	

【含有化学物質情報 - 含有判定/総含有量】 *1 閾値レベルによる

レベル	物質群 分類No.	物質群	*1含有判定	総含有量 (mg)
レベル A	A05	カドミウム及びその化合物	Y N	
	A07	六価クロム化合物	Y N	
	A09	鉛及びその化合物	Y N	
	A10	水銀及びその化合物	Y N	
	A17	トリブチルスズ=オキシド(TBTO)	Y N	
	A18	一部のトリブチルスズ類(TBT類)、 トリフェニルスズ類(TPT類)	Y N	
	B02	ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)	Y N	
	B03	ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類)	Y N	
	B05	ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)およびポリ塩化 ターフェニル類(PCT類)	Y N	
	B06	ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	Y N	
	B09	一部の短鎖型塩化パラフィン(C10-C13)	Y N	
	C01	アスベスト類	Y N	
	C02	一部のアゾ染料・顔料	Y N	
	C04	オゾン層破壊物質	Y N	
	C06	放射性物質	Y N	

レベル	物質群 分類No.	物質群	*1含有判定	総含有量 (mg)
レベル B	A01	アンチモン及びその化合物	Y N	
	A02	ヒ素及びその化合物	Y N	
	A03	ベリリウム及びその化合物	Y N	
	A04	ビスマス及びその化合物	Y N	
	A11	ニッケル	Y N	
	A13	セレン及びその化合物	Y N	
	B07	ポリ塩化ビニル(PVC)	Y N	
	B08	臭素系難燃剤	Y N	
	C05	フタル酸エステル類	Y N	

各項目の記載方法については、
『製品含有化学物質調査・回答マニュアル 第4版』を参照して下さい。

【含有化学物質 - 詳細情報】

物質群 分類No.	使用用途 分類コード	使用用途・目的	使用部位	最大均質材 料含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
レベル A (次ページに 続く)	A05				
	A07				
	A09				
	A10				
	A17				
	A18				
	B02				
	B03				

物質群 分類No.	使用用途 分類コード	使用用途・目的	使用部位	最大均質材 料含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
レベル A (続き)	B05				
	B06				
	B09				
	C01				
	C02				
	C04				
	C06				
レベル B	A01				
	A02				
	A03				
	A04				
	A11				
	A13				
	B07				
	B08				
	C05				

